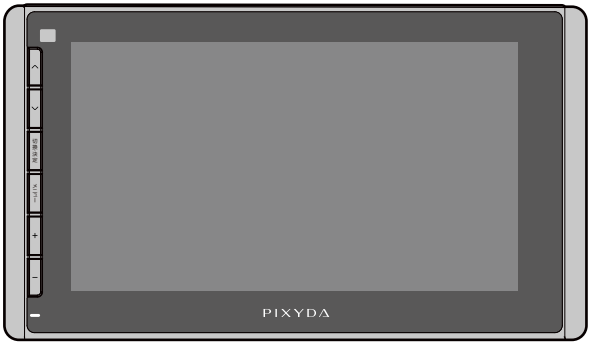
取扱説明書

SEIWA

PIXYDA

品番：PXV1000F
7V型WVGAフルセグTV



ご使用の前に、本書の「最初にお読みください」(4〜7ページ)を必ずお読みいただき、安全にお使いください。

保証書付

このたびは、車載用 地上デジタルテレビをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。

●「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
(取り扱い説明書裏面が保証書になっております)

部品構成一覧表

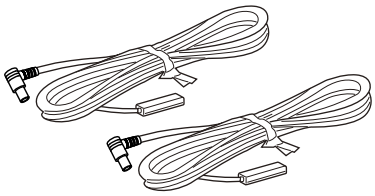
本機には、次のものが同梱されています。設置・接続の前にご確認ください。万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐに販売店または「お客様サポートセンター☎0265−98−0139」までご連絡ください。

□ 本機・・・・・・・・・1個

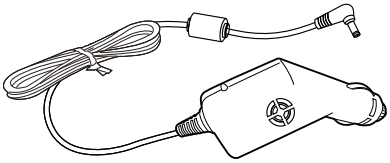
□ リモコン・・・・・・・・1個
（付属の電池を挿入してください）

□ フィルムアンテナ・・・・2枚

□ アンテナケーブル・・・・2本



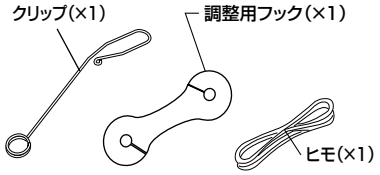
□ 電源ケーブル・・・・・・1本



□ miniB-CAS カード・・・・1枚

□ スタンド・・・・・・1個
（カッププレート　1枚付き）

□ セーフティケーブル



●付属品の使用および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

●この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

もくじ

●商品構成一覧……2
●最初にお読みください……4
●正しくお使いいただくために…7
●本機の特徴……9
●各部のはたらき……11
●B-CASカードの挿入……13
●ご使用前に……14
●メニュー画面の操作……15

●チャンネル設定……16
　初期スキャン……17
　再スキャン……18
●機器設定……22
　ホーム／ドライブ設定……22
　受信モード設定……23
●情報表示……27
　B-CASカード情報／製品バージョン情報
●ユーザー設定
　暗証番号の設定……28
　暗証番号の変更……29
　時計表示設定……31
　初期化……32
　アップデート……33

●テレビ放送を見る
　チャンネルを選ぶ……34
●音量調整するには……35
●チャンネル情報……35
●番組表からテレビ番組を見る‥37
●番組情報を表示する……38

●本機の設置と接続……39
●地上デジタル受信用アンテナの貼り付け
　アンテナの貼り付け……42
　貼り付け位置の確認……43
●電源の接続と配線……47

●お手入れについて……49
●リモコンの電池交換方法……49
●故障かな！?……50
●さくいん……52
●用語解説……52
●仕様……53

最初にお読みください

このたびは「7V型WVGAフルセグTV」(以下、本機)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機をご利用になる前に、本書をご覧になり、正しくお使いください。本書をお読みになったあとは、いつでも見られるように手元においてお使いください。
本書は次の決まりに従って書かれています。

■本書の前提
本書は本機での操作を説明しています。

■本書で使用している画面について
本書に使用している画面は開発中のものであり、実際の画面とは異なる場合があります。

■安全上のご注意
本取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と物的損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠警 告	「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示します。
⚠注 意	「傷害や物的損害のみの発生が想定される内容」を示します。
⃠	「してはいけない内容」を示しています。
❗	「しなければならない内容」を示します。
⚠	「気をつけていただく内容」を示します。

最初にお読みください

⚠警 告

運転中に操作・画面の注視をしないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。必ず安全な場所に車を停止させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。

本製品を運転の妨げになる場所や前方の視界を妨げる場所、エアバッグの動作の妨げになる場所に設置して使用しないでください。
運転に支障が生じ、交通事故を招くおそれがあります。またエアバッグが正常に作動しなかったり、動作したエアバッグでお客様が利用される機器などが破損したりしてケガをするおそれがあります。

同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない
同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取付の際は車両の保安部分のボルトやナットを絶対に使用しない。
ステアリングやブレーキなど、保安部分のボルトやナットを使用して本製品やコード等を取り付けると、事故の原因となります。

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態、また変なにおいがする・煙が出る・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起こりましたら、ただちに使用を中止してください。
そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

運転者は、走行中にヘッドホンを使用しないでください。
外部の音が聞こえにくくなること等により、交通事故を招くおそれがあります。

故障や異常のまま使用しない
煙がでる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。
●直ちに使用を中止してお買い上げの販売店、もしくは「お客様サポートセンター☎0265−98−0139」にご相談ください。

分解や改造はしない
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
●内部の点検・調整・修理は販売店、もしくは「お客様サポートセンター☎0265−98−0139」にご相談ください。

キャップなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。
あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

大きな音量で使用しない。
車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因になります。

リモコンを放置しない。
運転中に足もとに転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

雷が鳴り出したらアンテナ線やテレビには触れない。
感電の原因となります。

B-CASカードは、乳幼児の手の届くところに置かない。
誤って飲み込む恐れがあります。
●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる。
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用する。また、交換は専門技術者に依頼する。
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または「お客様サポートセンター☎0265−98−0139」にご依頼ください。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す。
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

最初にお読みください

⚠警 告

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける。
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う。
説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因となります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしておく。
バッテリーのマイナス端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

使用しないコードの先端などは、絶縁する。
被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

DC１２～２４V車で使用する。
DC１２～２４V車専用です。
上記以外のお車には使用できません。
火災や故障の原因となります。

⚠注 意

高温になる場所などに取り付けない。
直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

強い衝撃を与えない。
落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない。
雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけない。
ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない。
傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

付属のモニタースタンドは、布生地、革（合成皮革含む）、モケット系、曲面のきつい場所、溝がある面、凹凸が大きい車種には取り付けできません。

電池は正しく使う
破損や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因となることがあります。
- ●指定以外の電池は、使用しないでください。
- ●充電・分解・加熱をする、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしないでください。
- ●著しく温度が高くなるところ（直射日光のあたるところ、ヒーターの近く、窓を閉め切った車や車のトランクの中など）に、電池や電池の入ったリモコンなどを放置しないでください。

- ●電池の＋と－を、電池ケースの表示に合わせて入れてください。
- ●使い切った電池は、すぐに交換してください。
- ●リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- ●電池を保管するときは、テープなどで絶縁してください。

電池を廃棄する場合は
- ●各自治体の指示（地域の条例）に従って処理してください。

最初にお読みください

⚠注 意

長期間使用しない場合には、お車から取り外して直射日光の当たらない場所に保管してください。	リモコンは、直射日光・高温の場所を避けて保管する。 ケースの変形、内部電池の破裂、液漏れの原因になることがあります。
林道等の未舗装路や岩場等など条件の悪い場所での走行の際。 スタンド及び本体の破損や脱落を防ぐ為、一時的にスタンドより本体を取り外してください。	

正しくお使いいただくために

●デジタル放送では受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
●車で移動して受信するため、家庭用に比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度などにより受信状態が変化します。
●本機を受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルに近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

設置について

■次のところには、取り付けないでください。水のかかるところ、足でふまれるところ、およびヒーターのダクトなど温風の近くや、熱がこもるところ、直射日光のあたるところ。
■本機の通気孔をふさがない水平な場所に設置してください。
逆さや縦向きには設置しないでください。

取り扱いについて

■エンジンをかけてご使用ください。エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。
■衝撃を与えないでください。本機を落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障の原因になります。
■リモコンを落としたり、踏みつけたりなど衝撃を与えないでください。無理な力をかけると部品がこわれ、故障の原因となります。
■他の機器と接続する場合は・・・
接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。

運転時について

■運転中に操作・画面の注視をしないでください。運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。必ず安全な場所に車を停止させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。
■運転中の本機の音声は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故を招くおそれがあります。

正しくお使いいただくために

B-CAS カードの取り扱い

●B-CASカードを挿入しないとデジタル放送の受信ができません。
●ダッシュボードの上など、高温になるところにカードを放置しないでください。
●使用許諾契約約款をよくお読みの上、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを機器に正しく挿入してください。
●同封のB-CASカードは地上デジタル専用です。BS/110度CSデジタル放送対応受信機には使用しないでください。
●盗難防止のため、車から離れる際はB-CASカードを本機から抜き、車内に残さないようにすることをおすすめします。

免責事項について

■火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
■本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
■商品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両(バス・タクシー・商用車など)に使用した場合、適用対象になりません。
■他人に譲渡または処分などされる際は、プライバシー保護のため本機に入力した個人の情報管理や消去は、必ずお客様の責任において行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
■お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた基本プログラム等変化・消失した場合の補償はできません。
■万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。
■メールなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。

次の点にご留意ください。

■本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
■本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA,LLCにお問い合わせください。
■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
■本機はARIB(電波産業会)規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
■あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
■その他、製品名などの固有名詞は特に注記のない場合でも各社の商標または登録商標です。

本機の特長

地上デジタル放送に対応※

地上デジタル放送を高画質・高音質に楽しむことができます。
※EPG(電子番組表)、EWS(緊急警報放送)対応
※本機は、データ放送には対応しておりません。

ホーム／ドライブモード

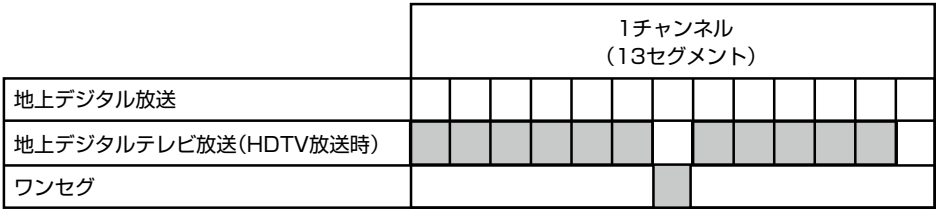
いつも見ている番組が外出先でも、いつもと同じチャンネルで視聴できます。
(放送局によっては、放送日時の変更および地区独自の番組を行っている場合があります。)
(22ページ)

自動中継局サーチ搭載

視聴中に放送が映らなくなったとき、リモコンを操作しなくても自動で走行エリア付近の放送局をサーチします。
(23ページ)
●走行エリア付近の中継局をサーチして同一放送局がなければ同じ系列の放送局を探します。
●電波の状態によっては、中継局や系列局のエリア内でも、自動サーチ機能が働く場合があります。

ワンセグに対応※1

従来の地上デジタル放送に加え。ワンセグにも対応しています。
また、地上デジタルテレビ放送←→ワンセグへの自動切り換えまたは手動切り換えにより受信エリアが拡大します。
(2008年3月までは、サイマル放送※2が運用されましたが2008年4月からは番組によって異なった放送が行われる場合があります。)
※1:「ワンセグ」の番組は、地上デジタルテレビ放送と同じものですが、あくまで携帯端末のような小画面を対象とした簡易動画です。ハイビジョンではありません。そのため、お使いのナビやリア席モニターでの表示画質が地上デジタルテレビ放送とワンセグでは、大きく異なります。本製品は、ワンセグのデータ放送には対応しておりません。
※2:サイマル放送とは、同じ時間帯に地上デジタルテレビ放送とワンセグでそれぞれ同じ内容の番組を放送することです。



●地上デジタル放送とは、UHF帯の電波を使って行う放送で、関東・中京・近畿の三放送域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。高品質の映像と音声、双方向データ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。(2011年3月現在)
●「ワンセグ」とは、携帯電話など移動体端末向け地上デジタル放送サービスの名称です。地上デジタル放送では、HDTV放送時は12セグメントを使用し、ワンセグでは残りの1セグメントを使うため。このように命名されました。

本機の特長

地上デジタル放送に対応※

●本機は、地上デジタルテレビです。
●B-CASカードを挿入しないと地上デジタル放送は視聴できません。(13ページ)地上デジタル放送は、従来の地上アナログ放送(VHF、UHF)やBSアナログ放送と違い映像や音声をデジタル化することで、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しむことができます。
●ラジオ放送は、BSデジタルと110度CSデジタルや、VHF帯域を使って実用化試験放送にて提供しているデジタルラジオなど、一部でのみ、実施されています。(2011年3月現在)
●本機は、BSデジタルと110度CSデジタルや、実用化試験放送にて提供しているVHF帯域のデジタルラジオ放送には対応していません。
●本機は、双方向データサービスに対応していません。

番組表を使う(36ページ)

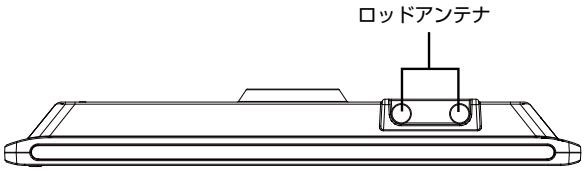
本機の画面上に一覧表示します。
(受信ができる放送局で、地上デジタルテレビ放送は最大8日分、ワンセグは1局あたり最大10番組)
●番組表から現在、放送中の番組の選局ができます。
●地上デジタルの番組情報は地上デジタル放送と一緒に送られています。
※本機はGガイドのサービスに対応しておりません。

便利な機能を使う(23ページ)

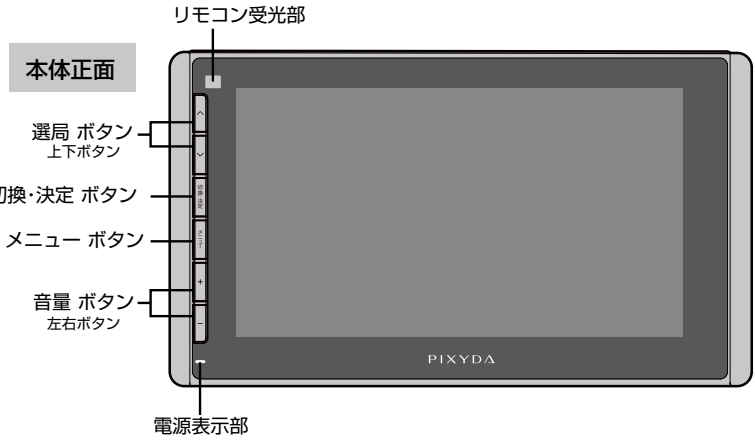
リモコン操作をせずにワンセグに切り換えることが出来ます。
(受信モード自動切換機能)
●受信モードを「自動切換」に設定すると、電波状態を感知して地上デジタルテレビ放送とワンセグを自動で切り換え、同じ番組を表示することができます。
※ワンセグでは表示画質が低下します。
※極端に電波状態が悪い所では、ワンセグでも表示できない場合があります。

各部のはたらき

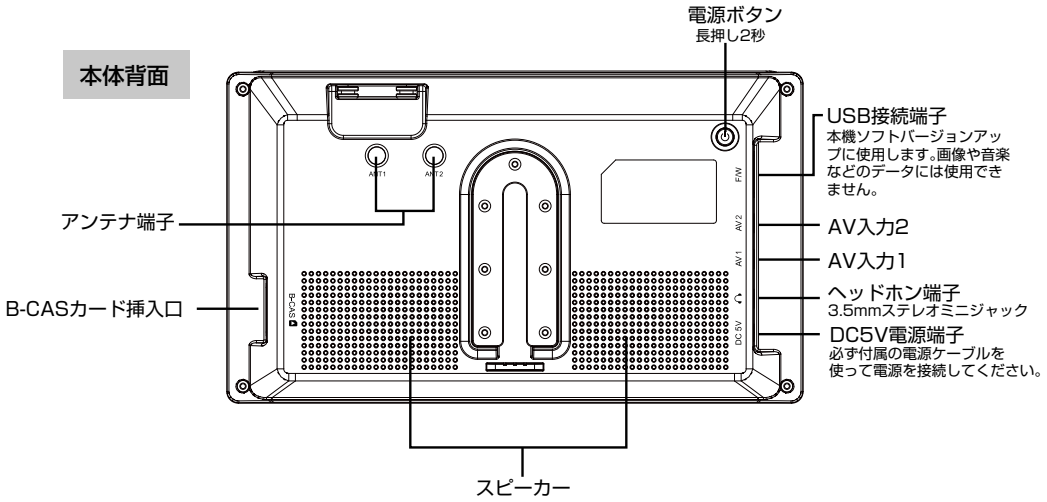
本体上面



本体正面



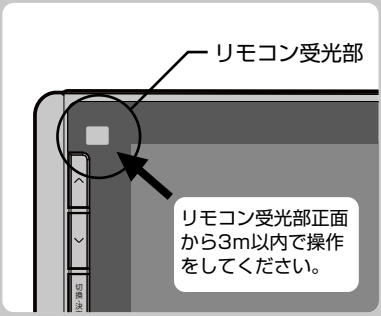
本体背面



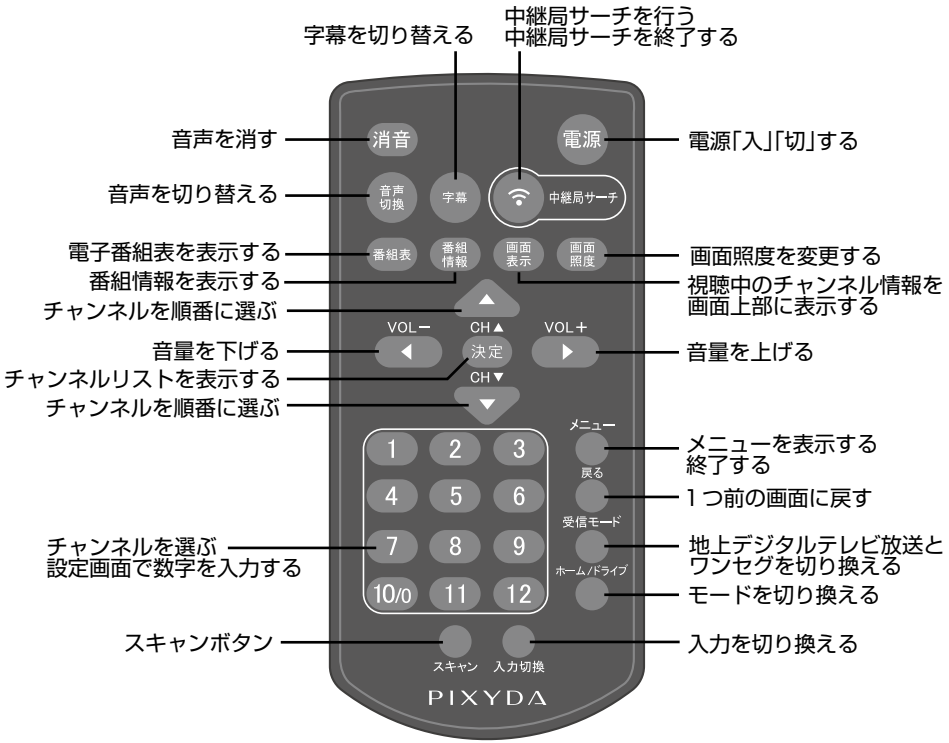
各部のはたらき

ご注意

- ●リモコン受信部に直射日光や強い照明があたると、リモコンの動作が鈍くなります。リモコン受信部にリモコンを近づけて操作してください。
- ●リモコン受信部とリモコンの間に物を置かないでください。
- ●リモコン受信部は指向性が強いため、傾けると動作しにくくなります。リモコン受信部の正面より操作してください。



リモコン

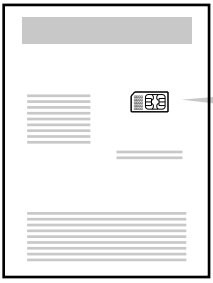


ビーキャス
B-CASカードの挿入

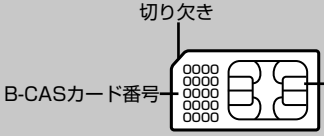
ご注意

●カードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
●B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。
●「使用許諾契約約款」をよくお読みください。

地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月からコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。



B-CASカード(添付)
●デジタル放送の視聴のために必要なカードです。



B-CASカードを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

■B-CASカード取り扱い上の留意点
・折り曲げたり、変形させない。
・重いものを置いたり踏みつけたりしない。
・水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
・IC(集積回路)部には手を触れない。
・分解加工は行わない。
・BS/110度CSデジタル放送対応受信機には使用しない。
(同封のB-CASカードは地上デジタル専用です。)

■B-CASカードについてのお問い合わせは
㈱ビーエス・コンディショナルアクセス
システムズ　カスタマーセンター
TEL 0570-000-250
(IP電話)045-680-2868

●B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
●ご使用中は抜き差ししな衣でください。視聴ができなくなる場合があります。
●B-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
●B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。(24ページ)

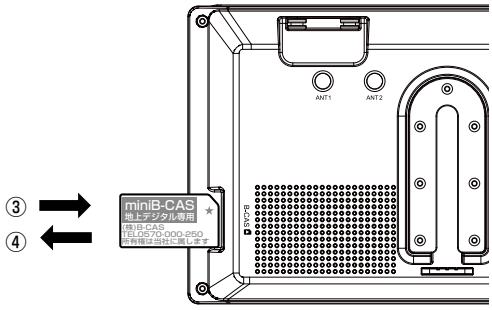
ご注意

カードの不具合と確認されてた場合は、お客様より㈱ビーエス・コンディショナルアクセスにお問い合わせください。カード交換を行った際発生した作業工賃などの費用は、お客様のご負担となります。

入れ方、取り出しかた

①エンジンを切り、ACCオフにする。(電源表示部の消灯を確認してください)
②B-CASカードをIC部を本体前面に、切り欠きがある方を奥にして、カチッと音がするまで確実に挿入する。
■B-CASカードのテストをするときは
(24ページ「B-CASカードテスト」)

③B-CASカードをカチッと音がするまで押します。
④カードが少し飛び出しますのでそのまま引き抜いてください。



ご使用前に

まずはじめに、以下の接続と設定を行ってください。

① 本機の車への取り付ける。

② アンテナの接続。

③ ＤＣ電源へ接続。
(47ページ)

④ リモコンの電池を入れる。
(49ページ)

⑤ エンジンをかける。

⑥ 本機の電源を入れる。

決定 ボタンを押します

⑦ 本チャンネルの初期スキャン(16、17ページ)と、受信レベル(19ページ)を確認する。

⑧ 本機の電源を切る

⑨ B-CACカードを挿入し、本機の電源を入れる(13、16ページ)
●挿入しないとデジタル放送を視聴することができません。

⑩ テレビを視聴するための「チャンネル設定」を行う(16ページ)
●画面の内容をお読みになり設定をすれば、本機を使用するために必要な初期設定が完了します。
●「チャンネル設定」を行わずに電源を切ると次回も「チャンネル設定」画面が表示されます。(チャンネル設定はホームモードでのチャンネルが設定されます。)

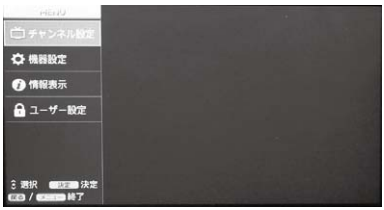
以上で、基本の接続と設定は終了です。
34ページからの説明をご覧になり放送お楽しみください。
・使いかたに合わせた各種の設定を行うことができます。(22ページ)

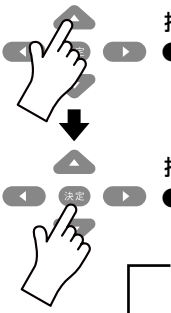
メニュー画面の操作

一つ前の画面に戻る

メニュー

押す
「メニュー画面」が表示されます。



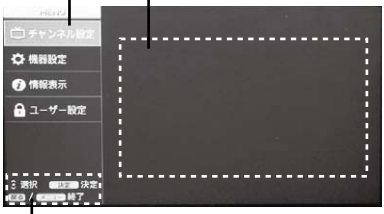


押して項目を選ぶ
●本書ではこの操作を▲▼◀▶で表記しています。

押す
●本書ではこの操作を 決定 で表記しています。

選択中の項目は黄緑表示

選択中の項目はグリーン表示



操作ボタンが表示されます

■メニュー項目

受信する地域やチャンネルについての初期設定を行います。

ホーム／ドライブのモードや受信モードの切替、「自動中継局サーチ」や「字幕」など、機器の設定を行います。

B-CASカードや本製品の情報を表示します。

暗証番号や視聴年齢制限などの設定、初期化やアップデートを行います。

チャンネル設定

テレビを見るための設定をおこないます。

●地域設定が正しく設定されていないと、番組表が表示されない場合があります。
すべての接続が終わったら、エンジンを掛けリモコンの電源ボタンを押してください。

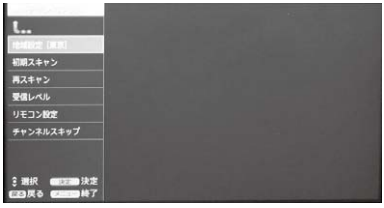
電源を入れた時に警告画面が表示されます。確認して 決定 ボタンを押してください。

① 最初に電源を入れた時は、初期画面が表示されます。

「メニューボタン」を押します。

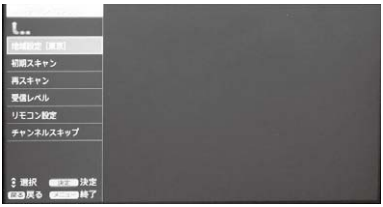
（操作の途中は「戻る」で1つ前の画面に戻ります。）

② メニューが表示されます。

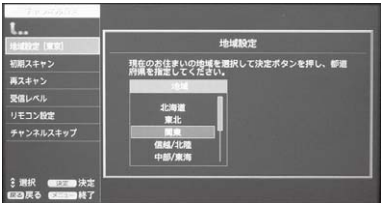


地域設定

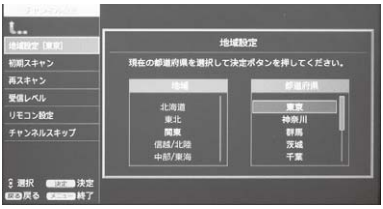
① ▼▲ボタンで「チャンネル設定」を選択、▼▲ボタンで「地域設定」を選択し、決定 ボタンを押します。



② ▼▲ボタンで「地域」を選択し、決定 ボタンを押します。



③ ▼▲ボタンで「都道府県」を選択し、決定 ボタンを押します。



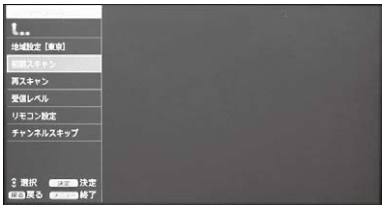
チャンネル設定

初期スキャン

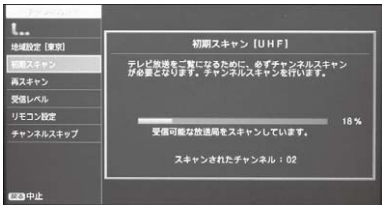
●現在受信できるチャンネルを調べて新しく一覧表示します。
※今までの設定はすべてリセットされます。

「メニューボタン」を押します。

① ▼▲ボタンで「チャンネル設定」を選択し、▼▲ボタンで「初期スキャン」を選択、決定 ボタンを押します。



② スキャンが開始されます。中止する場合は「戻る」ボタンを押してください。



スキャンを中止した場合は次のような画面になります。

◀ ▶ボタンで［はい］を選択し、決定 ボタンを押すと「メニュー画面」に戻ります。
◀ ▶ボタンで［いいえ］を選択し、決定 ボタンを押すとスキャンが再開されます。

③ スキャンが終わるとチャンネルが表示されます。
▼▲ボタンでチャンネルを選択し、決定 ボタンを押します。

●必ず、決定 ボタンを押してください。「メニュー」ボタンや「戻る」ボタンを押してテレビ画面に戻っても設定は反映されません。

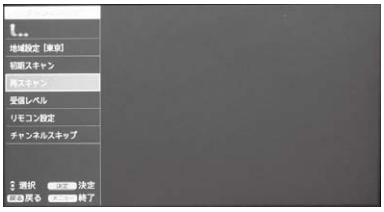
チャンネル設定

再スキャン

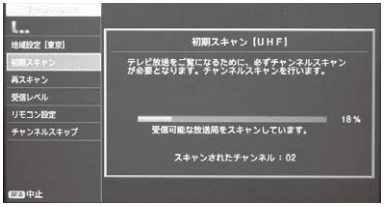
●新たに受信できた放送局を追加します。
※今までの設定はリセットされません。
●リモコンの再スキャンボタンを押しても実行できます。

「メニューボタン」を押します。

① ▼▲ボタンで「チャンネル設定」を選択し、▼▲ボタンで「再スキャン」を選択、決定 ボタンを押します。

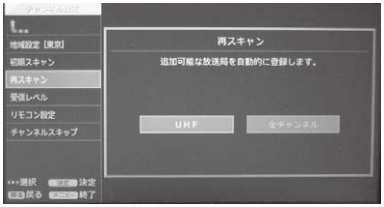


② スキャンが開始されます。中止する場合は「戻る」ボタンを押してください。



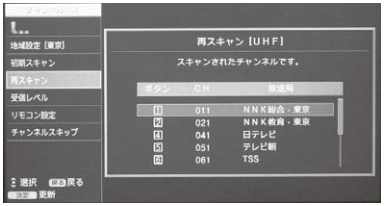
スキャンを中止した場合は次のようになります。

◀ ▶ボタンで「はい」を選択し、決定 ボタンを押すとメニューの画面に戻ります。
◀ ▶ボタンで「いいえ」を選択し、決定 ボタンを押すとスキャンが再開されます。



③ スキャンが終わるとチャンネルが表示されます。

▼▲ボタンで「チャンネル」を選択して決定 ボタンを押します。



●必ず、決定 ボタンを押してください。「メニュー」ボタンや「戻る」ボタンを押してテレビ画面に戻っても設定は反映されません。

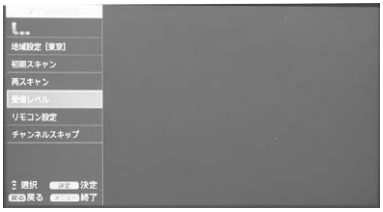
チャンネル設定

受信レベル

●受信レベルを確認するには、2通りの方法があります。登録された放送局リストから選ぶ方法と、物理チャンネルを指定する方法です。

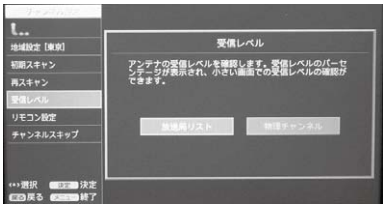
「メニューボタン」を押します。

① ▼▲ボタンで「チャンネル設定」を選択し、▼▲ボタンで「初期スキャン」を選択、決定 ボタンを押します。

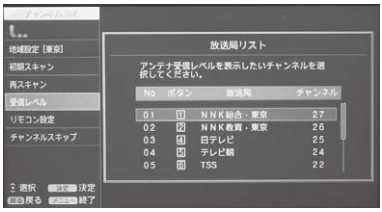


登録された放送局リストから選ぶ。

② ◀ ▶ボタンで「放送局リスト」を選択し、決定 ボタンを押します。

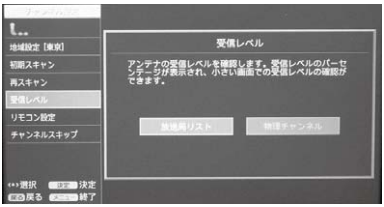


③ ▼▲ボタンで確認したいチャンネルを選択し、決定 ボタンを押します。



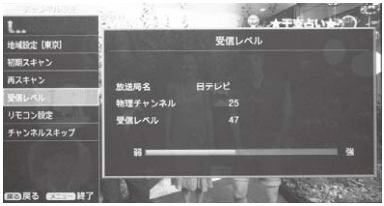
物理チャンネルを指定する。

② ◀ ▶ボタンで「物理チャンネル」を選択し、決定 ボタンを押します。



③ 13から62までの中で「物理チャンネル」の数字を数字ボタンで入力し 決定 ボタンを押す。

④ 受信レベル確認画面が表示されます。



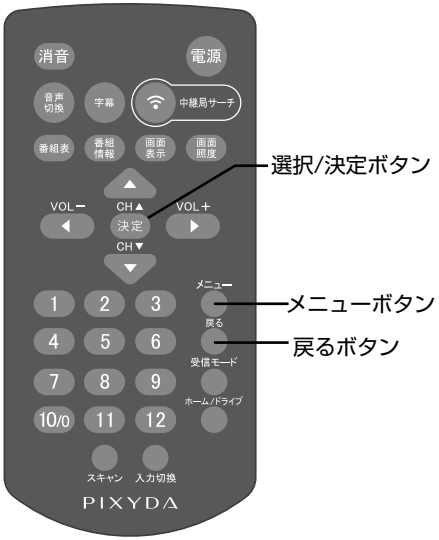
●地上デジタル放送受信時のみ、受信映像が映ります。ワンセグ受信時やB-CAカードが挿入されていないときは受信映像は映りません。

「戻る」ボタンでチャンネル選択画面に戻ります。
「メニュー」ボタンで、メニュー画面を終了します。

チャンネル設定

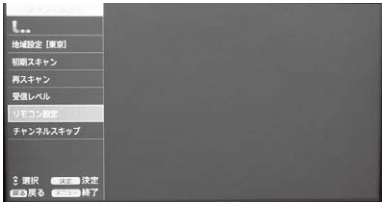
リモコン設定

●リモコンの番号ボタンに、放送局を割り当てます。
●初期スキャン・再スキャンで、自動的に割り当てられたものの変更が出来ます。



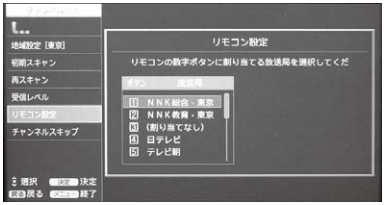
「メニューボタン」を押します。

① ▼▲ボタンで「チャンネル設定」を選択し、▼▲ボタンで「リモコン設定」を選択、決定 ボタンを押します。

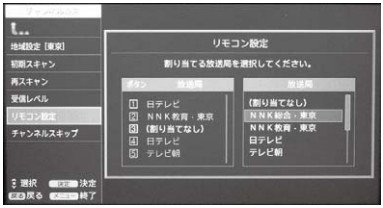


●初期スキャンで受信可能な放送局が登録されていないとリモコン設定はできません。

② ▼▲ボタンで「番号」を選択し、決定 ボタンを押します。



③ ▼▲ボタンで「放送局」を選択し、決定 ボタンを押します。



④ 指定の放送局が割り当てられた事を確認してください。

●他の番号ボタンにも割り当てたい時は、②以降を繰り返します。
●すでに割り当てが有る番号を変更するには、③で放送局を割り当てなしにしてください。

終了するには「メニュー」ボタンを押します。

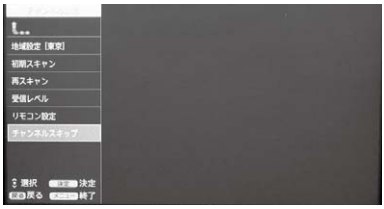
チャンネル設定

チャンネルスキップ

●「チャンネル」のアップ/ダウン時、特定チャンネルをスキップできます。

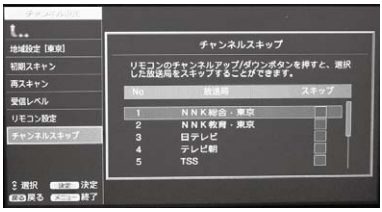
「メニューボタン」を押します。

① ▼▲ボタンでチャンネル設定を選択し、▼▲ボタンでチャンネルスキップを選択、決定 ボタンを押します。



●初期スキャンで受信可能な放送局が登録されていないとチャンネルスキップ設定はできません。

② ▼▲ボタンでスキップしたいチャンネルを選択し 決定 ボタンを押します。
選択したチャンネルにチェックマークが入っていることを確認してください。
チェックされたチャンネルはスキップされます。
決定 ボタンをもう一回押すとチェックマークがはずれ、スキップが解除されます。

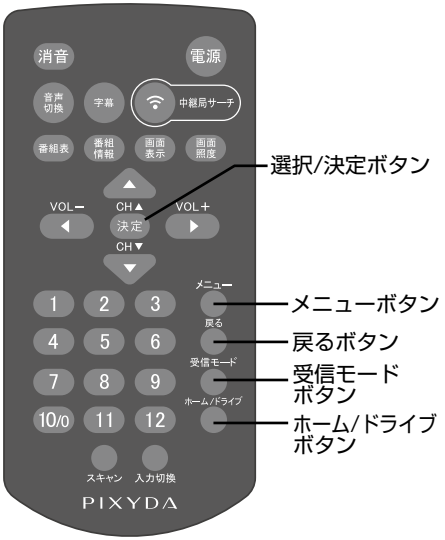


●スキップしたいチャンネルを全てチェックしましたら「メニュー」ボタンを押して終了してください。

機器設定

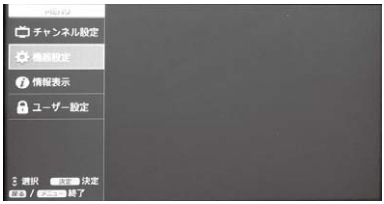
ホーム/ドライブ設定

●ご自宅付近での使用モード〔ホーム〕と、ご自宅の近状から離れたところでの使用モード〔ドライブ〕があり、当てはまるモードを選択します。この選択は、リモコンの「ホーム/ドライブ」ボタンでも出来ます。

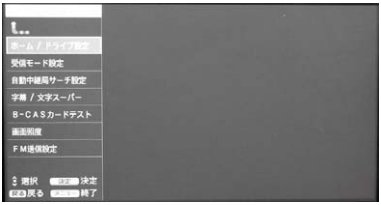


「メニューボタン」を押します。

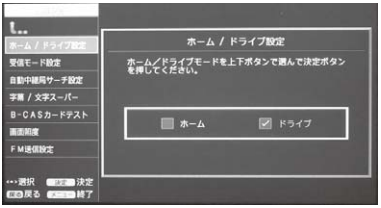
① ▼▲ボタンで「機器設定」を選択。



② ▼▲ボタンで「ホーム/ドライブ設定」を選択、決定 ボタンを押します。



③ ◀ ▶ボタンで〔ドライブ〕を選択、決定 ボタンを押します。



●自宅周辺でテレビを見るときは〔ホーム〕で映らなくなるほど遠くへ移動中や外出先でテレビを見るときは〔ドライブ〕に切り換えてください。

「メニューボタン」を押して終了します。

●初めてドライブモードを使用するときはチャンネル設定画面が表示されます。
その場合は、ホームモードと同様にチャンネル設定を行ってください。

●外出時など、受信地域が変わったときや、ホームモードで映らなくなるほど遠くへ移動した際は、ドライブモードでチャンネル設定を行うとホームモードの設定が変わらず便利です。

●ご自宅付近に戻ってきた際には「ホーム」を選択することでいつも視聴しているチャンネル設定に切り換わります。

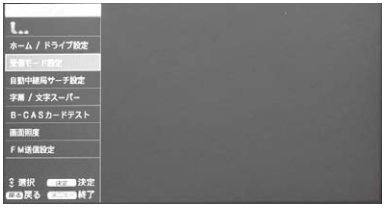
機器設定

受信モード設定

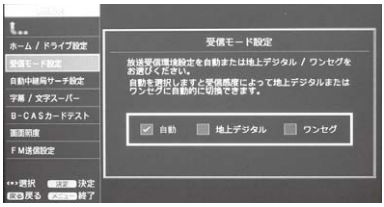
● 受信状況に応じて、地上デジタルテレビ放送とワンセグを自動的に切り換えるか、地上デジタルテレビ放送またはワンセグを固定するかを設定します。

「メニューボタン」を押します。

① ▼▲ボタンで「機器設定」を選択し、
▼▲ボタンで「受信モード設定」を選択、
決定 ボタンを押します。



② ▼▲ボタンで〔自動〕〔地上デジタル〕〔ワンセグ〕のいずれかを選び、
決定 ボタンを押します。



「メニューボタン」を押して終了します。

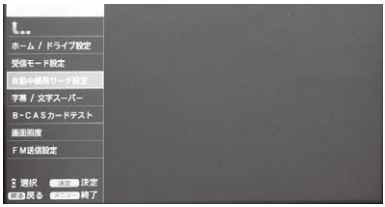
●「自動切換」に設定すると地上デジタルテレビ放送番組を視聴中に、受信状況が悪化したときには、自動的にワンセグの番組に切り換え、地上デジタルテレビ放送が受信できるようになれば、自動的に地上デジタルテレビ放送の番組に切り換えます。

●視聴中に、リモコンの「受信モードボタン」を押しても受信モードを切り換えることができます。

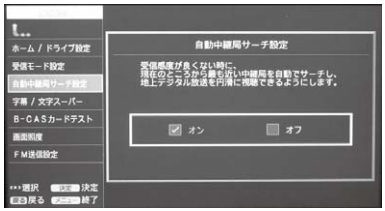
自動中継局サーチ設定

「メニューボタン」を押します。

① ▼▲ボタンで機器設定を選択し、
▼▲ボタンで自動中継局サーチ設定を選択、 決定 ボタンを押します。



② ▼▲ボタンで〔オン〕もしくは〔オフ〕を選択、 決定 ボタンを押します。



「メニューボタン」を押して終了します。

●トンネルや山間部などが多い地域ではサーチが頻繁に動作する場合があります。この場合、テレビが映らない時間が長くなるため「オフ」に設定することをお奨めします。

●電波の状態によっては、中継局や放送局のエリアを外れても、途切れ途切れに映り続ける場合があります。そのときは、手動で中継局サーチを行ってください。

●自動中継局サーチで走行エリアに受信できるチャンネルがないときや、電波が弱い時などは、サーチ状態が長時間続くことがあります。そのときは、手動で中継局サーチを中止してください。

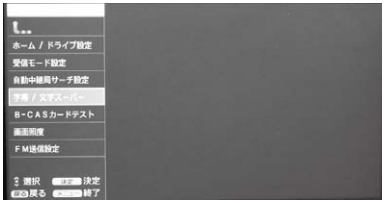
機器設定

字幕/文字スーパー

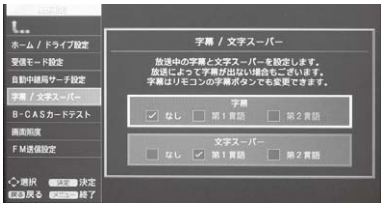
複数の字幕・文字スーパーのある番組では、お好みに合わせた字幕・文字スーパーを表示する事が出来ます。

「メニューボタン」を押します。

① ▼▲ボタンで「機器設定」を選択し、
▼▲ボタンで「字幕/文字スーパー」を選択、
決定 ボタンを押します。



② ▼▲◀ ▶ボタンで［字幕］［文字スーパー］それぞれの設定を選び、決定 ボタンを押します。

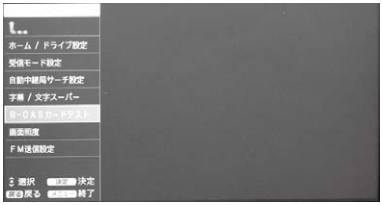


●放送によっては字幕が出ない場合があります。また放送によって字幕が表示される位置が異なる場合があります。
●字幕はリモコンの字幕ボタンでも変更できます。

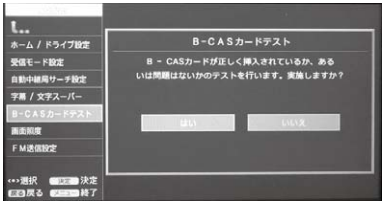
B-CASカードテスト

「メニューボタン」を押します。

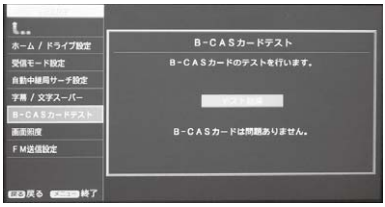
① ▼▲ボタンで「機器設定」を選択し、
▼▲ボタンで「B-CASカードテスト」を選択、
決定 ボタンを押します。



② ◀ ▶ボタンで［はい］を選択し、
決定 ボタンを押すとテストが始まります。
◀ ▶ボタンで［いいえ］を選択し、
決定 ボタンを押すと、テストを行わずにメニュー画面に戻ります。



③ テスト結果を確認します。



「メニューボタン」を押して終了します。

■B-CASカードテストの結果に問題があるときは、下記の手順で再度B-CASカードのテストをしてください。

(1)設定終了後、車のエンジンを切り、B-CASカードを一旦取り出して、再度挿入します。(13ページ)

(2)車のエンジンをかけ、再度B-CASカードテストを行う。

画面照度

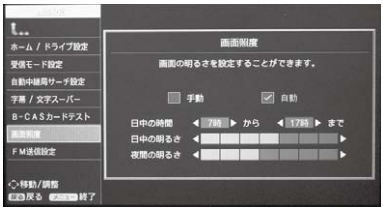
「メニューボタン」を押します。

① ▼▲ボタンで「機器設定」を選択し、
▼▲ボタンで「画面照度」を選択、
決定 ボタンを押します。

② ◀ ▶ボタンで「手動」か「自動」を選び、
決定 ボタンを押します。

「手動」の場合◀ ▶ボタンで画面の明るさの調節ができます。

「自動」の場合、設定した時間で自動的に画面の明るさを変更できます。
▼▲◀ ▶ボタンで「日中時間」と「日中の明るさ」「夜間の明るさ」を設定します。



「メニューボタン」を押して終了します。

●決定ボタンを押さずに前画面に戻ったり、メニュー画面を終了した場合は明るさの設定が反映されません。

●リモコンの画面照度ボタンをくり返し押すことにより調整することもできます。

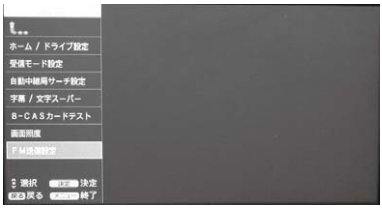
機器設定

FMトランスミッター送信設定

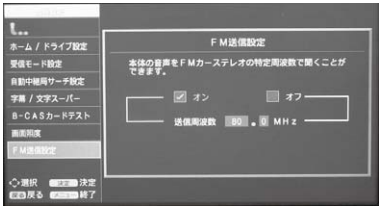
本機の音声をカーステレオ(FMラジオ)で聞くことができます。

「メニューボタン」を押します。

① ▼▲ボタンで「機器設定」を選択し、▼▲ボタンで「FM送信設定」を選択、決定 ボタンを押します。



② ◀ ▶ボタンで[オン][オフ]選び、決定 ボタンを押します。



▼▲ボタンで送信周波数の整数部分を選び、決定 ボタンを押します。

③ ▼▲ボタン送信周波数の整数部分/少数部分を選び、決定 ボタンを押します。

「メニューボタン」を押して終了します。

●送信周波数は、76.0MHzから90.9MHzまで選択できます。放送が行われている周波数と重複しないように設定してください。

⚠注 意

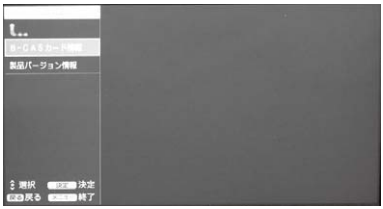
FMT設定をオンにすると、本体の内蔵スピーカーからは音声が出力されなくなります。
仕様の問題で故障ではありません。

情報表示

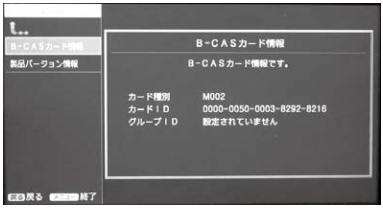
B−CAS カード

「メニューボタン」を押します。

① ▼▲ボタンで「情報表示」を選択し、
▼▲ボタンを「B-CASカード情報」を選択、
決定 ボタンを押します。



② B-CASカード情報を確認します。

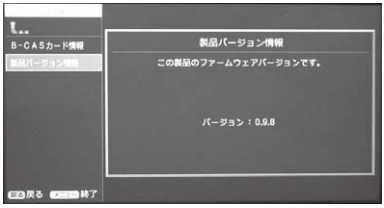


終了するには「メニューボタン」を押し

製品バージョン情報

「メニューボタン」を押します。

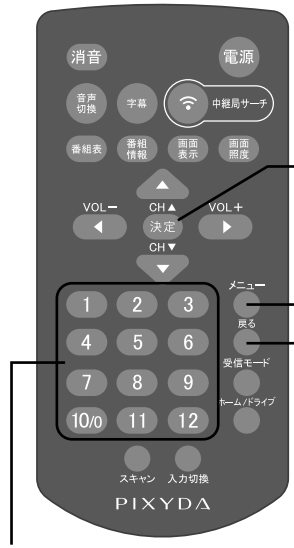
① ▼▲ボタンで「情報表示」を選択し、
▼▲ボタンで「製品バージョン情報」を選択、
決定 ボタンを押すと製品バージョン情報
が表示されます。



ユーザー設定

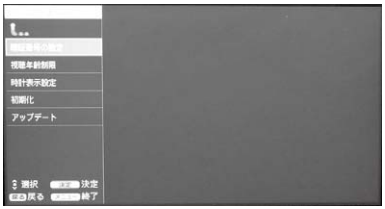
暗証番号の設定

視聴年齢設定や初期化時の暗証番号を設定します。
必要に応じて設定を行ってください。

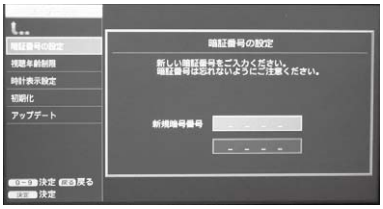


「メニューボタン」を押します。

① ▼▲ボタンで「ユーザー設定」を選択し、▼▲ボタンで「暗証番号の設定」を選択、決定 ボタンを押します。

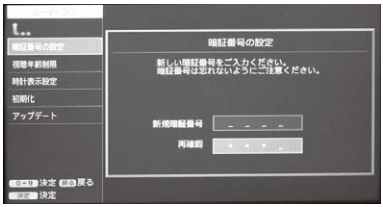


② 数字ボタンで設定したい番号4桁を入力します。
入力時の数字は＊マークで表示されます。



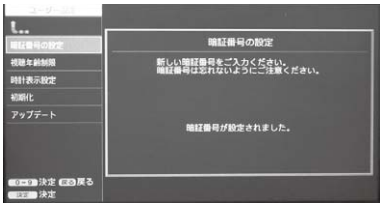
●4桁目のボタンを押すと、再確認に進みます。

③ もう一度暗証番号を入力します。入力した番号が間違っていると入力前の状態に戻りますので、もう一度入力しなおしてください。



●4桁目のボタンを押すと、次の画面に進みます。

④ この画面では、自動的にメニュー画面に戻ります。



●これで暗証番号が設定されました。すでに暗証番号が設定されている場合には、暗証番号の変更をおこなってください。

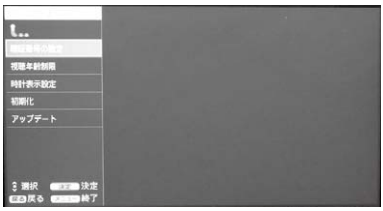
ユーザー設定

暗証番号の変更

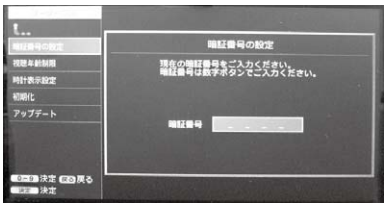
設定した暗証番号を変更します。

「メニューボタン」を押します。

① ▼▲ボタンで「ユーザー設定」を選択し、▼▲ボタンを「暗証番号の設定」を選択、決定 ボタンを押します。

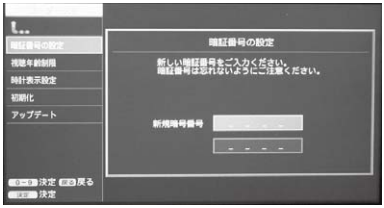


② 数字ボタンで設定した暗証番号を入力します。
入力時の数字は＊マークで表示されます。



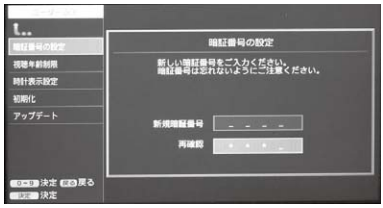
●4桁目のボタンを押すと、次の画面に進みます。

③ 数字ボタンで新しく設定したい番号4桁を入力します。
入力時の数字は＊マークで表示されます。



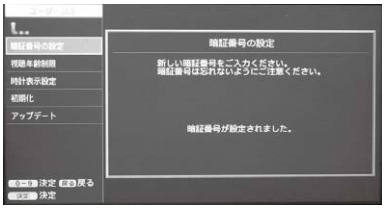
●4桁目のボタンを押すと、次の画面に進みます。

④ もう一度暗証番号を入力します。
入力した番号が間違っていると入力前の状態に戻りますので、もう一度入力しなおしてください。



●4桁目のボタンを押すと、次の画面に進みます。

⑤ この画面では、自動的にメニュー画面に戻ります。

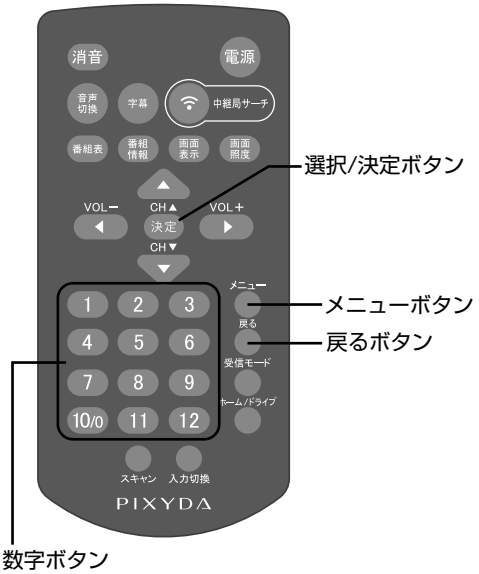


●これで暗証番号が設定されました。

ユーザー設定

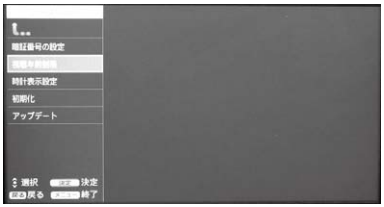
視聴年齢制限

視聴年齢設定を設定します。



「メニューボタン」を押します。

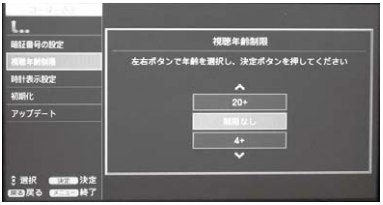
①▼▲ボタンで「ユーザー設定」を選択し、
▼▲ボタンで「視聴年齢制限」を選択、
決定 ボタンを押します。



②数字ボタンで設定したい暗証番号を入力します。
入力時の数字は＊マークで表示されます。

●4桁目のボタンを押すと、次の画面に進みます。

③▼▲ボタンで「年齢」を選択し、
決定 ボタンを押します。



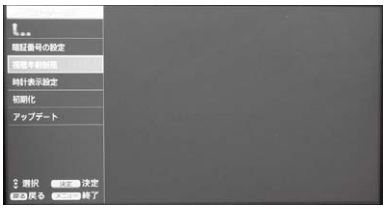
●しばらくすると、自動的にメニュー画面に戻ります。

ユーザー設定

時計表示設定

「メニューボタン」を押します。

① ▼▲ボタンで「ユーザー設定」を選択し
▼▲ボタンで「時計表示」を選択、
決定 ボタンを押します。



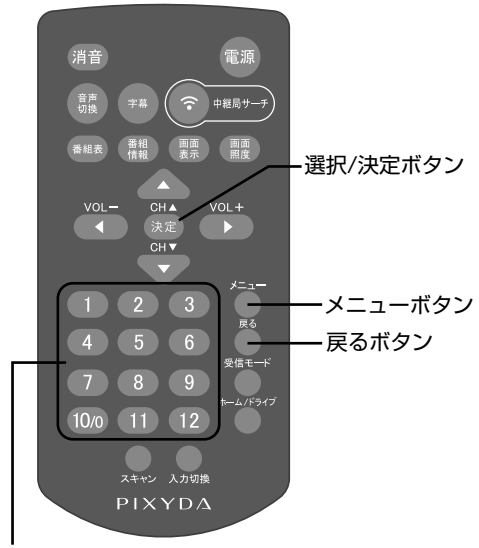
② ◀ ▶ボタンで[はい]または[いいえ]を選択、決定 ボタンを押します。

[はい]を選択すると、画面右下に現在時刻が常に表示されます。

ユーザー設定

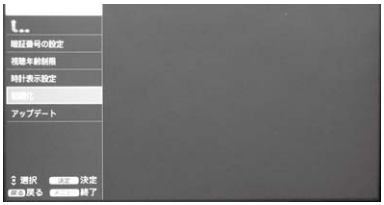
初期化

すべての設定を初期化して、工場出荷時の状態に戻します。

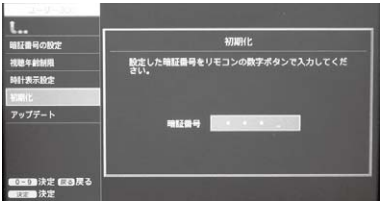


「メニューボタン」を押します。

① ▼▲ボタンで「ユーザー設定」を選択し、▼▲ボタンで「初期化」を選択、決定 ボタンを押します。

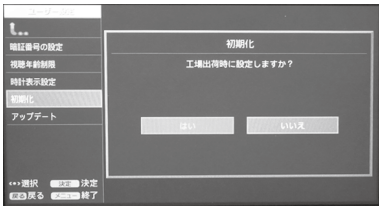


② 数字ボタンで設定したい暗証番号を入力します。
入力時の数字は＊マークで表示されます。



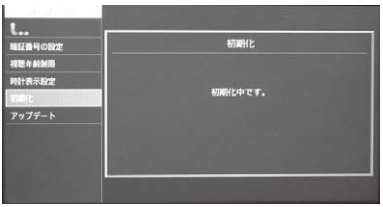
●4桁目のボタンを押すと、次の画面に進みます。

③ ◀ ▶ボタンで［はい］または［いいえ］を選択し、決定 ボタンを押します。



●［いいえ］を選択すると、メニュー画面に戻ります。［はい］を選択した時は、次の画面に進みます。

④ 初期化中は、電源を切ったり他の操作を行ったりしないでください。



●初期化が終了すると、初期化完了のメッセージの後、再起動画面が表示されます。
●メッセージが表示されるまで、リモコンでの操作や電源の「切」「入」は行わないでください。

ユーザー設定

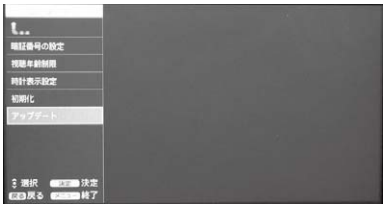
⑤ 決定 ボタンを押します。

本体が再起動して、初期画面に戻ります。

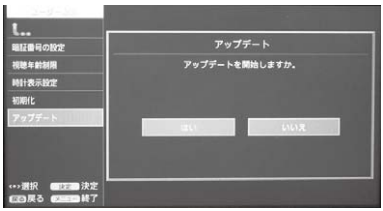
アップデート

「メニューボタン」を押します。

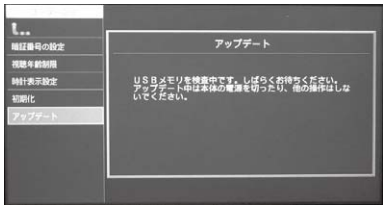
① ▼▲ボタンで「ユーザー設定」を選択し、▼▲ボタンで「アップデート」を選択、決定 ボタンを押します。



② ◀ ▶ボタンで［はい］または［いいえ］を選択し、決定 ボタンを押します。

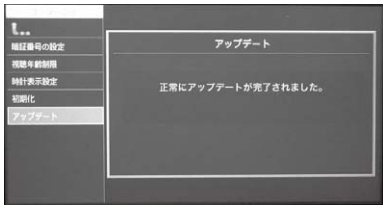


③ アップデート中は、電源を切ったり他の操作を行わないでください。



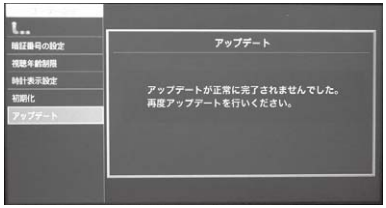
アップデートが終了すると、アップデート完了のメッセージ画面が表示されます。

④ アップデート完了のメッセージ画面が表示されます。



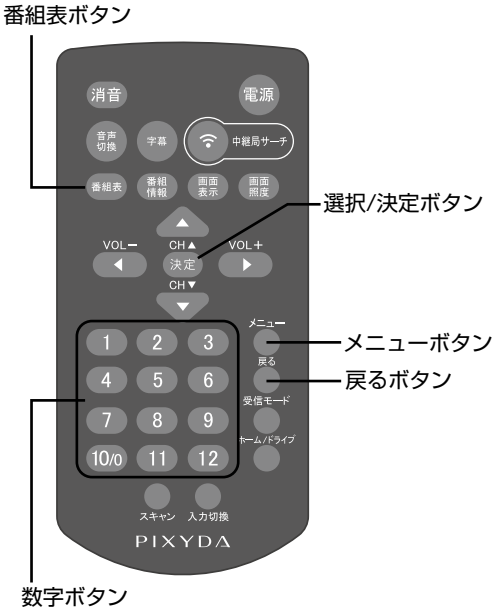
本体が再起動して、テレビ画面に戻ります。

⑤ アップデートが正常に完了しなかった時は、メッセージ画面が表示されます。



2～3秒後に再起動して、テレビ画面に戻ります。

テレビ放送を見る



電源を入れた時に警告画面が表示されています。
確認した 決定 ボタンを押してください。

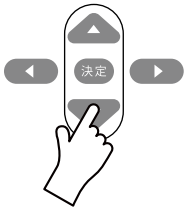
チャンネルを選ぶ(選局)

リモコン数字ボタンで選ぶ。

初期スキャン・再スキャンや、リモコン設定で放送局を割り当てた数字ボタンを押します。

リモコンの選択ボタンで選ぶ。

▲▼ボタンを押します。



受信できるチャンネルを順に選局します。

チャンネルリストから選ぶ

番組を見ている時に 決定 ボタンを押すと、チャンネルリストが表示されます。

▲▼ボタンで見たいチャンネルを選び、決定 ボタンを押すと選択したチャンネルになります。

番組表からテレビ番組を選ぶ (37ページ)

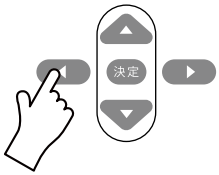
「番組表」ボタンを押します。

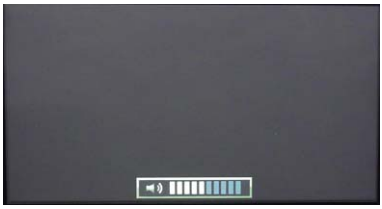
テレビ放送を見る

音量を調整する

リモコンの選択ボタンで調整する

① 番組を見ている時に
◀ ▶ボタンを押します。



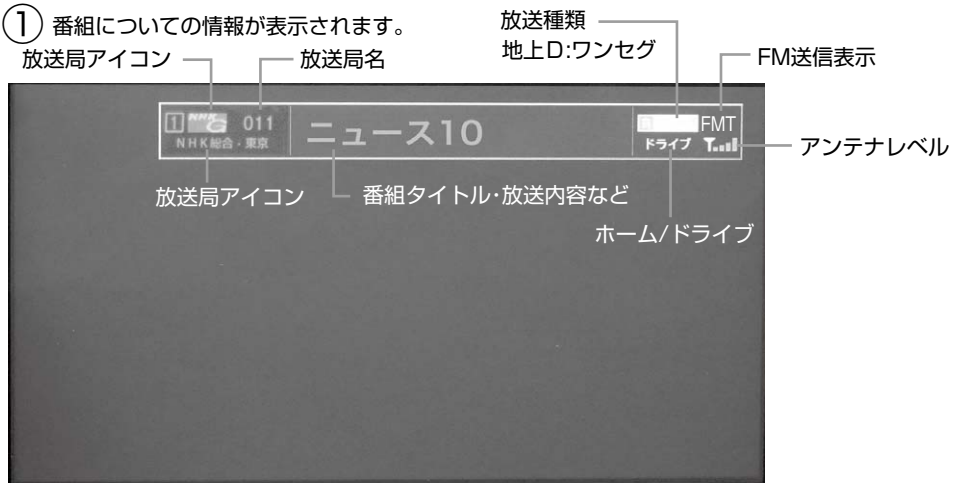


※FMトランスミッターで音声出力している場合は、カーステレオで音量調整をおこなってください。
※FMトランスミッター設置時には、本体からの音声が出ません。

チャンネル情報

番組を見ている時に、「画面表示」ボタンを押します。

① 番組についての情報が表示されます。



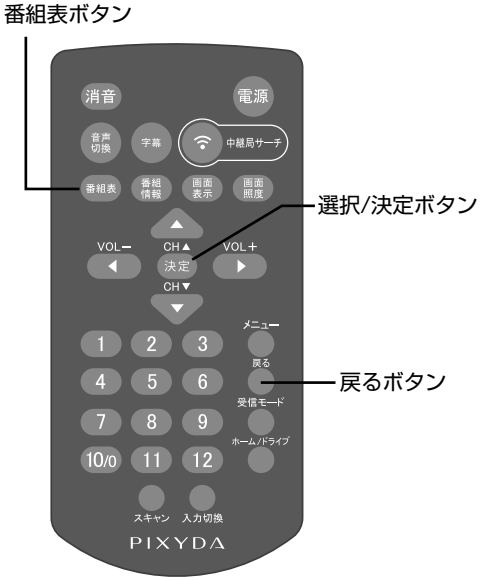
情報表示が出ている時に、「画面表示」ボタンを押します。

② 簡易表示になります。

簡易表示中に、「画面表示」ボタンを押します。

③ 情報表示が消えます。

番組表からテレビ番組を見る



(操作の途中は戻るボタンで1つ前の画面に戻ります。)

番組表を見る

① 番組を見ている時に
「番組表」ボタンを押します。

●番組表が表示されます。

●電源を入れた直後は番組表が表示されるまでに約1分程度かかる場合があります。

「戻る」ボタンで見ていたもとの番組に戻ります。

番組表からテレビ番組を見る

① 番組を見ている時に
「番組表」ボタンを押します。

選択中の番組はグリーン色で表示されます。

② ▲▼◀ ▶ボタンで見たい番組を選び、
決定 ボタンを押します。

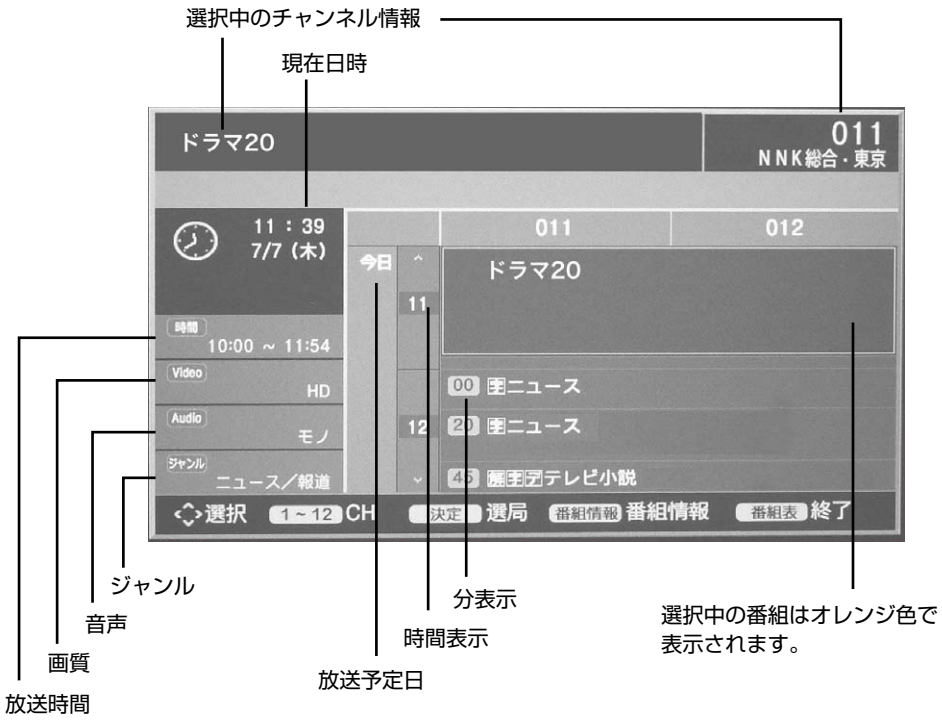
選択した番組表が表示されます。

番組表からテレビ番組を見る

番組表

●番組を選んで、「番組表」ボタンを押すと番組表画面になります。

● 決定 ボタンを押すと視聴画面になります。



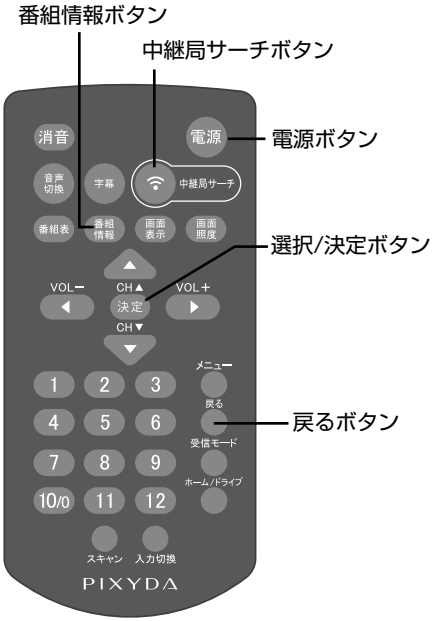
●過去の番組は表示できません。
●未視聴のチャンネルは表示できません。
●ホーム/ドライブモードを変更したり、エンジンを切ったり（ACCオフ）した場合は、取得した番組表データが失われます。

地上デジタル放送の番組表について
受信可能な放送局で番組情報が表示されない場合は、そのチャンネルを1回視聴してから、もう一度番組表を表示してください。（数分かかる事があります）
地上デジタルテレビ放送で表示されるのは受信できる放送局で最大8日分、ワンセグで表示されるのは、1局あたり最大で10番組です。

番組表からテレビ番組を見る

中継局サーチ

●視聴中に電波が受信できなくなった時、受信感度の強い中継局または系列局を探して、切り換えます。



テレビ視聴画面で「中継局サーチ」ボタンを押します。

① 中継局サーチが開始されます。

中止するには「中継局サーチ」ボタン、「戻る」ボタン、及び「電源」ボタンを押します。

●中止するには「中継局サーチボタン」、は「戻る」ボタン、及び「電源」ボタンを押します。
●「中継局サーチ」では、視聴中のチャンネルのみ変更されます。すべてのチャンネルを変更する時は、初期スキャンや再スキャンをおこなってください。

番組情報

① 番組を見ている時に
「番組情報」ボタンを押します。

●番組情報が表示されます。

「戻る」ボタン、または「番組情報」ボタンで見ていた元の番組に戻ります。

※極端に電波が弱い場所などでは、中継局サーチを行っても受信できない場合があります。

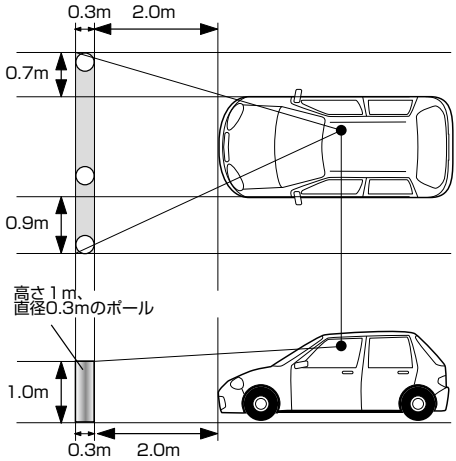
本機の設置と接続

設置する前に

ダッシュボード付近に本製品を取り付ける場合のご注意
●前方視界、直前側方視界を妨げる箇所に設置しないでください。
●エアバッグ作動時に影響がないように取り付けてください。
国土交通省の定める保安基準※に適合されるため、運転者の視界を妨げないように「前方視界基準」(下記)に従って設置してください。
※保安基準とは、昭和２６年７月２８日施行 運輸省令第６７号道路運送車両の保安基準における第２１条及び第４４条第５項の告示で定める基準を言います。

前方視界に関して

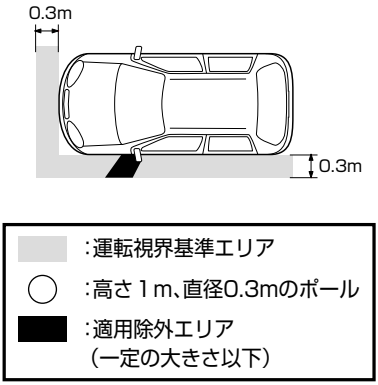
●運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接確認できるように取り付けてください。



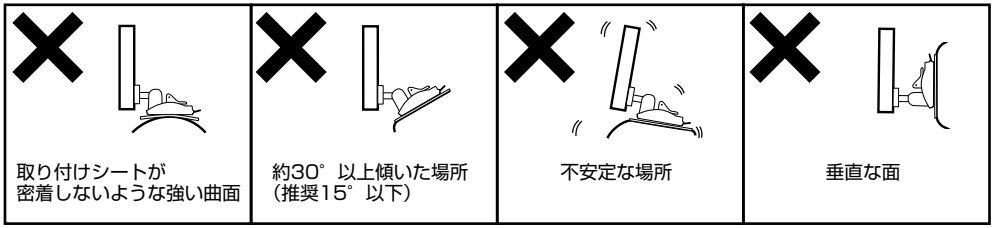
※上図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右逆になります。

直前側方視界に関して

●運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接またはミラーで確認できるように取り付けてください。



必ずダッシュボードの平らな面にしっかり取り付け、安定させてください。
下記のような場所には絶対に取り付けないでください。落下する原因になります。



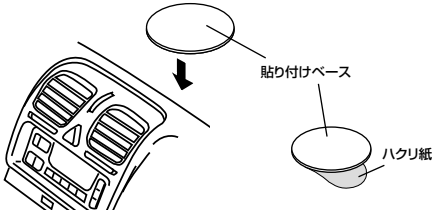
前面ガラスおよび側面ガラス(運転者席の左右)への取り付けは、保安基準第29条に不適合となりますので、絶対におやめください。

本機の設置と接続

取り付け方法

① 設置位置の確保

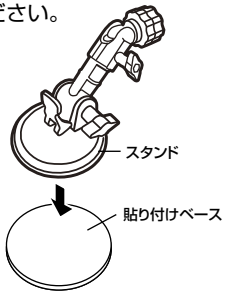
●あらかじめ、スタンドを取り付ける場所を確認してください。(貼り付け面がザラついている面に貼り付ける場合は付属の貼り付けベースをご使用ください)
付属の貼り付けベースを用意して、裏面のハクリ紙をはがして貼り付けてください。
●お車の貼り付け場所のワックス、油、汚れ等を、付属のクリーナーで落としてください。(落ちない場合は、中性洗剤等を用いて落としてください。)取り付け場所が乾燥した後、以下の手順でお取り付けください。
※貼り付けは車内温度が低い状態で行ってください。
※貼り付けベースを貼り付けた後は粘着テープの粘着力を得るため、48時間放置してからご使用ください。
<貼り付けベースを取り付ける場合>



※注意
粘着テープの貼り直しは、脱落の原因となりますので絶対にお止めください。

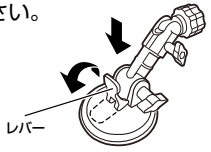
② スタンドを取り付けます。

●スタンドに吸盤保護フィルムが貼り付いていますので、はがして取り外してください。
●貼り付けました貼り付けベースの上に本体を吸着させてください。



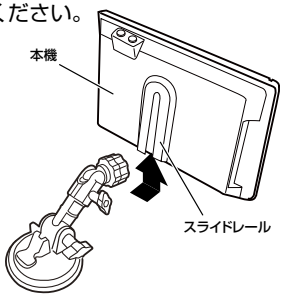
③ スタンドを取り付けます。

●スタンドをしっかりとダッシュボード面に押し付けながら、レバーを押し下げて、ロックしてください。



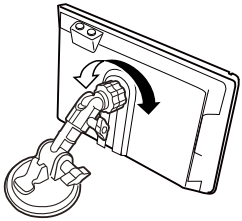
④ 本機の取り付けをします。

●本機背面のスライドレールに、スタンドのレールガイドを差し込み、スライドさせていれてください。



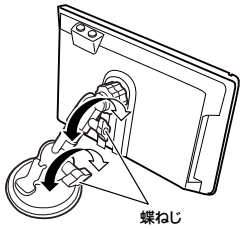
⑤ 本機の固定をします。

●本体を手でしっかり押さえてダイヤルと締め付けてください。



⑥ 角度調節をします。

●見やすい角度になるように蝶ねじで角度調整をしてください。



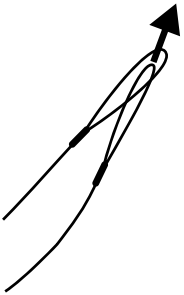
●スタンドを軽く前後・左右に力を加えまして、しっかりと固定されているかをご確認ください。

本機の設置と接続

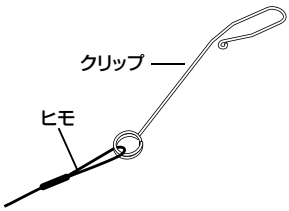
セーフティケーブルの取り付け方法

※万が一の脱落を防止するため、付属のセーフティケーブルをご使用ください。

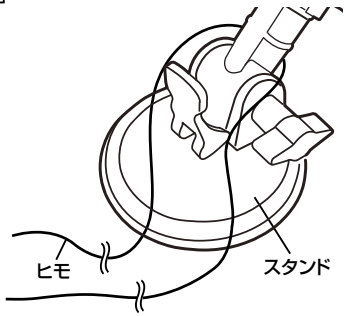
1 ヒモを輪に通します。



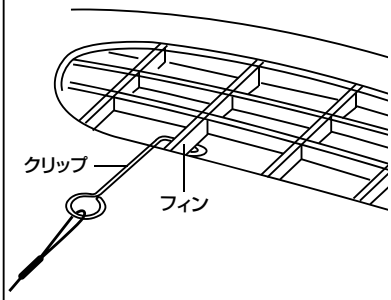
2 クリップにヒモの輪を取り付けます。



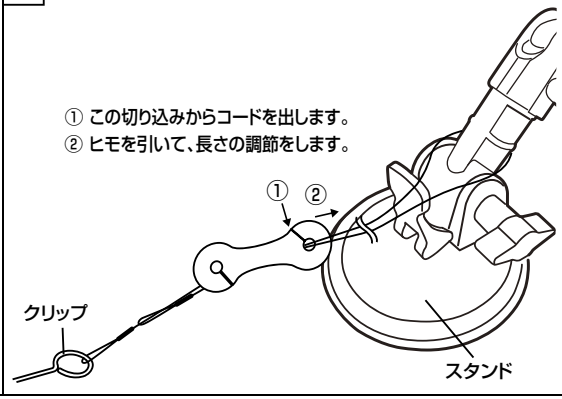
3 スタンドのアームにヒモを通してください。



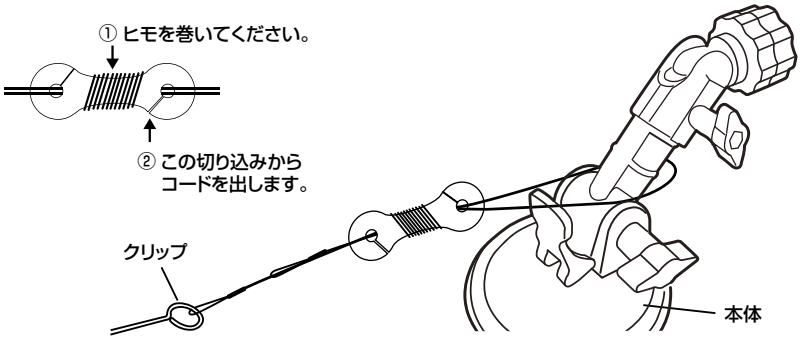
4 フロントガラス下のエアコン吹き出し口にクリップの先端を挿入してフィンに引っかけてください。



5 ヒモを図のようにフックのミゾに通してください。



6 2本のヒモをフックに巻くことで長さの調節をします。



地上デジタル受信用アンテナの貼り付け

お取り付け・ご使用の前に必ずお読みください

●本製品を設置する際には、記載の【貼り付け位置囲】を参照の上、必ずその範囲内に設置してください。国土交通省の定める道路運送車両の保安基準に適合する位置に取り付けを行わないと、道路交通法違反で取り締まりにあったり、車検に通らなくなります。又、前方視界の妨げになる場所や運転操作の妨げになる場所、エアバッグなどの安全装置の作動に影響のある場所や同乗者に危険を及ぼすような場所へは取り付けないでください。事故や怪我の原因となるおそれがあります。

●運転者の視界の妨げ及び運転操作の妨げになる場所への取り付けは事故の原因にとなるおそれがありますので、お避けください。

●配線したアンテナケーブルは運転操作の妨げにならないように束ねてください。ブレーキペダルやハンドルに絡まったりすると重大な事故の原因となりますので、ご注意ください。

●このアンテナはフロントウインドウ貼り付け専用です。フロントウインドウ以外の場所には、貼り付けないでください。

●貼り付け·配線の為に、車両の内装(ピラーカバーなど)を一時的に取り外す必要がありますので、ご了承ください。

●フィルムアンテナ、アンプ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。

●フィルムアンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。

●車種によって、使用条件や基本性能が発揮できない場合があります。
·熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お車を購入した販売店に確認をしてください。
·ミラーフィルム、蒸着フィルムなどの電波不透過フィルムを施行したガラスの場合には、受信感度が極端に低下します。お車を購入した販売店に確認をしてください。
·エアバッグをピラーに搭載している車両には、取り付けることができません。

次のようなところでは、映りにくいまたは、映らないことがあります。

●地上デジタル放送がおこなわれていない、または受信できない地域。
●ビルとビルの間を走行、または停車している場合。
●上空を飛行機が追加、または電車が近くを通過している場合。
●送電線の付近を走行している場合。
●山陰や木立の陰に入って走行している場合。
●地下や高架下を走行、または停車している場合。
●自動車、バイク、高圧線、ネオンサイン等の近くを走行している場合。
●ラジオ、アマチュア/業務無線の送信アンテナの近くを走行、または自ら発信している場合。
●車両の搭載機器(※)が動作している場合ノイズが発生し、アンテナレベルが低下する事があります。
※電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプ、電動カーテン、電動サンルーフ、ドライブレコーダー、レーダー探知機、車載モニターなど。
●一部の車種の断熱ガラスでは電波を反射する性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。

貼り付ける際の注意点

●アンテナエレメントの貼り直しはできません。左右の貼り間違いや貼り付け位置の間違いなどが無いようご注意ください。

●アンテナを貼る前に必ずコードおよびアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

●必ずフロントウィンドウの指定の位置·寸法内に正しく貼り付けてください。

●サイドガラスやリアガラスには、貼らないでください。十分な受信状態が得られません。

●フロントウィンドウ(内側)の汚れ(ゴミ、ホコリ、油など)や、曇り止めや水分等をアルコール等でキレイに拭き取ってください。また、市販の界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。

●アンテナフィルムや剥離紙などを剥がした面には、手で触れないでください。また、長期間の放置はしないでください。汗や汚れ、静電気による故障や接触不良の原因になります。

●本製品の貼り付け、配線等を行うには専門技術が必要になる場合があります。安全の為、お買い求め頂いた販売店、お車のディーラー、プロショップに依頼、ご相談される事をお勧めします。ご自身で設置を行う場合には、安全に十分な注意を払い、自己責任において作業を行ってください。

地上デジタル放送受信用アンテナの貼り付け

貼り付け位置の確認

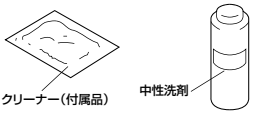
貼り付ける位置について

●国土交通省の定める保安基準に適合させる為、アンプ部は必ず図のように貼り付けてください。
※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付けの運輸省（当時）告示第820号をいいます。
●フロントウィンドウに、すでにフィルムタイプのアンテナを取り付けている場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
（指定の位置・寸法内に取り付けられない場合があります。）
●十分な性能を発揮する為に、上部に縦貼りする場合はアンプ部は出来るだけ上部に、またピラー側から横貼りにする場合は、出来るだけピラー寄りに貼り付けてください。

●プリントアンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
●プリントアンテナの接着面どうしを貼り合わせないでください。接着面どうしが付いてしまうとはがれにくく、接着面のノリがはがれて貼り付かなくなります。
●セパレーターをはがした後は、貼り付け面に手を触れないでください。

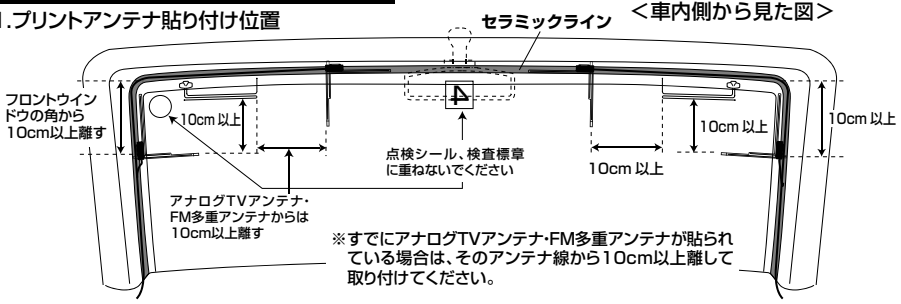
フィルムアンテナ貼り付け方法

●フィルムアンテナの貼り付け面、左右の位置と長さ及びケースの大きさを合わせてフロントウインドウを確認して貼り付ける位置を決めてください。
※貼り付ける場所のゴミ、ホコリ等を付属のクリーナーもしくは、薄めた中性洗剤を塗布した布等でお車の装着位置の汚れをよく拭き落としてください。

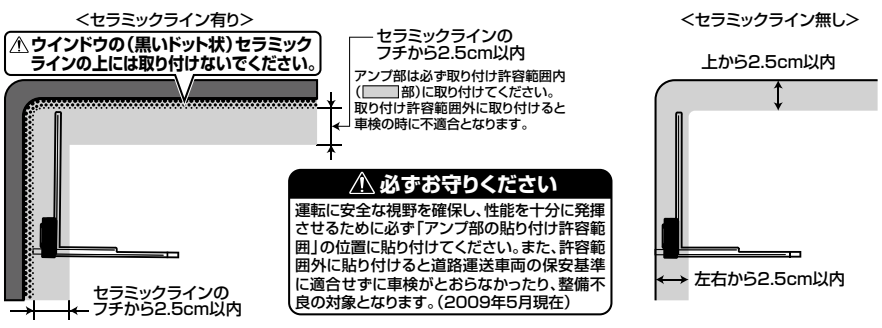


フィルムアンテナ貼り付け位置

1.プリントアンテナ貼り付け位置



2.アンプ部の貼り付け許容範囲について



⚠ 必ずお守りください

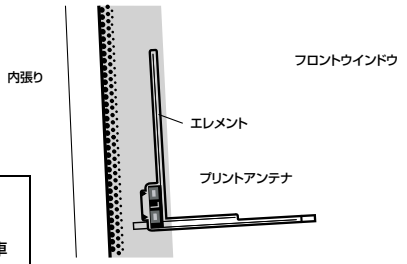
運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために必ず「アンプ部の貼り付け許容範囲」の位置に貼り付けてください。また、許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せずに車検がとおらなかったり、整備不良の対象となります。（2009年5月現在）

地上デジタル放送受信用アンテナの貼り付け

プリントアンテナの設置

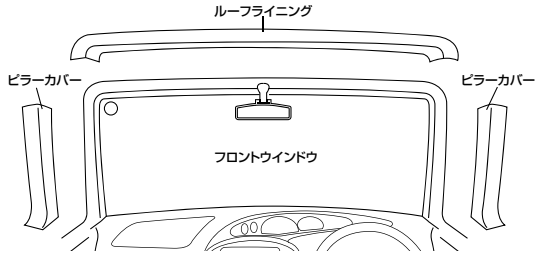
1 プリントアンテナの貼り付け位置を決める

●プリントアンテナ貼り付け位置、アンプ部の貼り付け許容範囲についてを参照して貼り付け位置を決めてください。
●プリントアンテナの貼り付けの際、車内の内張り(ピラー、ルーフライニングなど)にアンプ部が当たらないように貼り付け位置を決めてください。



2 車内の内張り(ピラー、ルーフライニングなど)を取り外す

●ケーブルを引き回す際の、仮位置を決めてください。
※必ず内張り等を外さなければならない訳ではありません。配線方法やお車の形状等に応じてご判断ください。



⚠ 注意

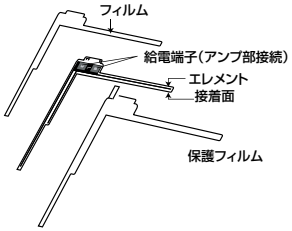
ケーブルの配線時にピラーカバーやルーフライニング内張りを外して配線を行う場合には、その取り外しや再取り付けができることもご確認ください。できない場合は、販売店にご相談ください。

3 ガラス面の汚れ等を拭き取る

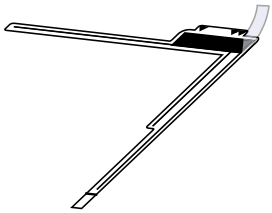
●貼り付ける場所のゴミ、ホコリ等を付属のクリーナーもしくは、薄めた中性洗剤を塗布した布等でお車の装着位置の汚れをよく拭き落としてください。

4 プリントアンテナの構成とセパレーターのはがし方

●プリントアンテナは3層に分かれています。フィルムを残し、保護フィルムをはがしてください。



フィルムと保護フィルムの間にエレメントが挟まれています。
(エレメントの広い部分が給電端子部分です。)



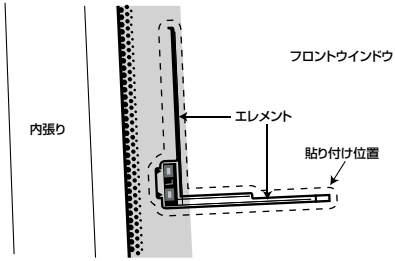
●プリントアンテナの位置を決めてから保護フィルムをはがしてフロントウインドウに密着します。

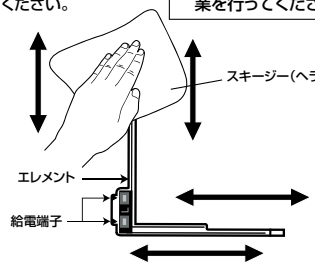
5 プリントアンテナをフロントウインドウに貼り付ける

●フロントウインドウ面の貼り付け位置に、給電端子側から貼り付けてください。その際エレメント部分に空気が入ったり、シワが寄らないようにゆっくりと貼り付けてください。
※貼り付けた後、すぐにフィルムをはがさずスキージー(ヘラ)やウェス等の柔らかい布で図のように圧着し、しっかり貼り付けてください。左右・上下に圧着してください。

⚠ 注 意

●一度、貼り付けてしまうと貼り直しができません。曲がったり、たわんだりしないように慎重に作業を行ってください。

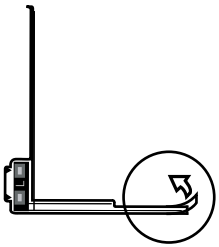




地上デジタル放送受信用アンテナの貼り付け

6 フィルムをはがす

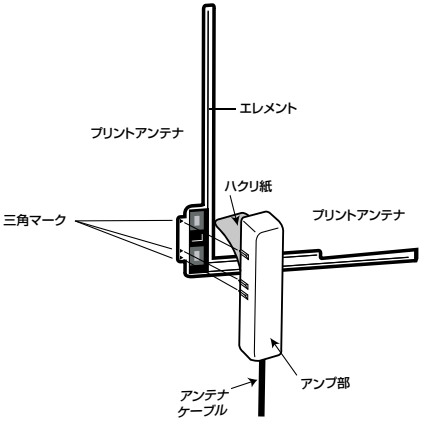
●しっかり貼り付けができましたらフィルム（透明）の端に粘着テープなどを貼り付けて、粘着テープを持ちながら、ゆっくりていねいにフィルムをはがしてください。
●エレメントのはがれが生じないよう、右端から慎重にゆっくりとはがしてください。もし、エレメントがはがれかけましたら、フィルム（透明）の上から再度圧着して貼り付けてください。



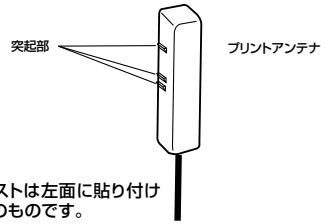
7 アンプ部をエレメントに貼り付ける

アンテナエレメントに合わせてアンプケースを貼り付けます。アンプケースには上下があります、ご確認の上貼り付けてください。

●アンプ部裏面の粘着テープのハクリ紙をはがします。
●アンプ部裏面に露出しております金属接点を、アンテナエレメントの給電端子に接触させるように貼り付けます。しっかりと接触させる為に、アンプケース側面にあります突起部をアンテナエレメントの三角マーク▲に合わせて貼り付けてください。
●貼り付けた後、アンプケースを圧着してしっかりと固定してください。



※イラストは左面に貼り付ける際のものです。



※イラストは左面に貼り付ける際のものです。

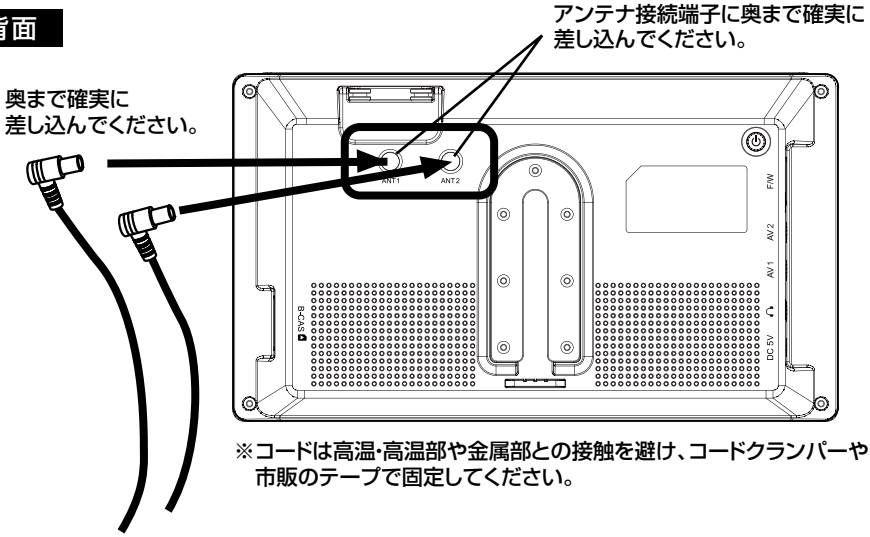
1 ～ 7 の手順で右側のアンテナも貼り付けを行ってください。

その他

●本製品のアンテナケーブルの取り付け時は、なるべく別々に離して配線してください。他のAV機器等も含め、映像が悪くなりますので、コードは一緒に束ねないでください。また、アンテナケーブルが長く余り、束ねる場合、別々に大きく（長く）束ねるようにしてください。絶対に結ばないでください。
●貼り付け・配線が終わりましたら、ピラー・ルーフライニング等を再度取り付けてください。

地上デジタル放送受信用アンテナの取り付け

本体背面

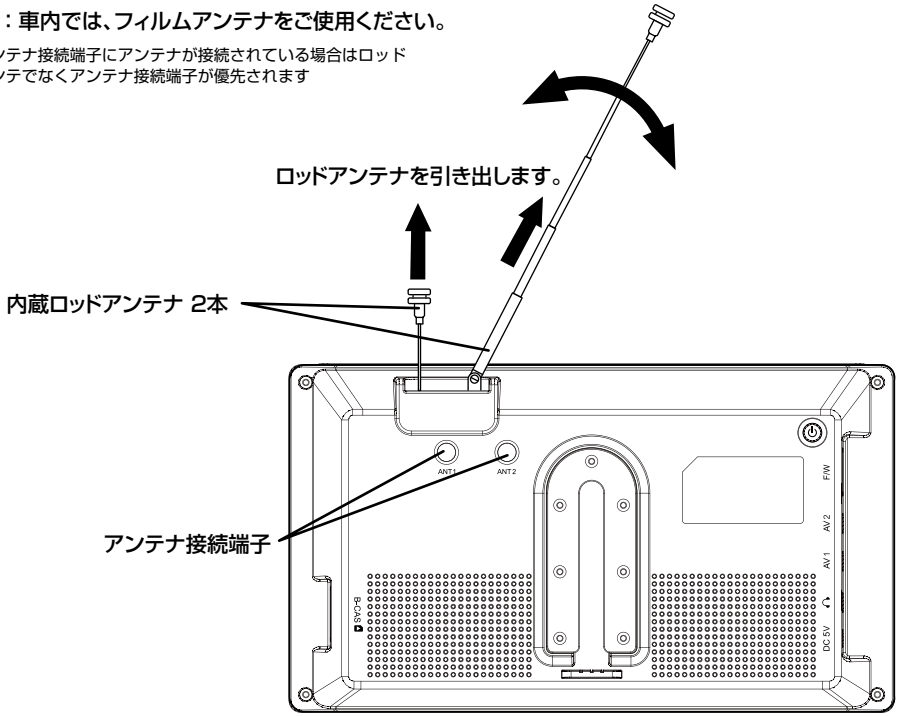


※コードは高温・高温部や金属部との接触を避け、コードクランパーや
市販のテープで固定してください。

内蔵ロッドアンテナの使用方法

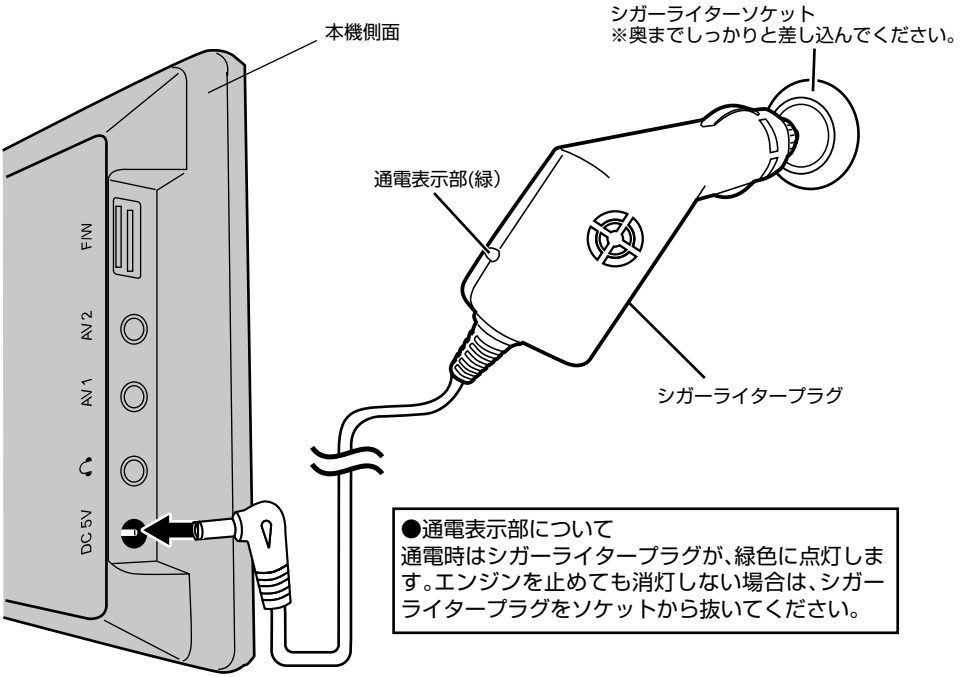
注意：車内では、フィルムアンテナをご使用ください。

※アンテナ接続端子にアンテナが接続されている場合はロッド
アンテでなくアンテナ接続端子が優先されます



電源の接続と配線

接続箇所



●通電表示部について
通電時はシガーライタープラグが、緑色に点灯します。エンジンを止めても消灯しない場合は、シガーライタープラグをソケットから抜いてください。

⚠警 告 運転中は絶対に操作しないでください。事故の原因になります。	⚠注 意 定期的にプラグ先端のゆるみやぬけなど、異常がないか確認してください。
❗ プラグ先端や緩みや異物の付着があると、接触不良により発熱し、火災や故障、車輌側のヒューズの断線などの原因になります。	

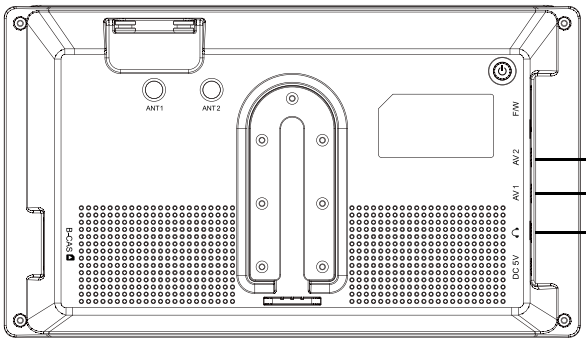
お願い

- ●電源コードは、その他の配線を完了し接続を確認したあとに配線してください。
- ●コードは高温・高熱部や金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープで固定してください。
- ●ノイズ防止のため、アンテナのコード、電源コード(付属)はテレビ本体や他のコード類からできるだけ離してください。
  また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。受信不良や映像、音声にノイズが入る原因になります。

電源の接続と配線

入力端子

本体背面



AV入力2

AV入力1

ヘッドホン端子
3.5mmステレオミニジャック

AV入力の切換が出来ます。

●ヘッドホン端子：市販の3.5mmヘッドホンを接続できます。

●AV入力2：
●AV入力1：＞市販の3.5mm映像音声ケーブルを接続できます。

※AV機器の種類によっては、映らない物やノイズの入る物がございます。

付録

お手入れについて

テレビ本体・液晶画面のお手入れ

- ●テレビ本体は、電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。
- ●液晶画面は、クリーニングクロスでふいてください。
- ●ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは、使用しないでください（ケースや塗装が変質するおそれがあります）
- ●ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。跡がつくことがあります。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

車載用吸盤スタンドのお手入れ

吸盤の吸着面が汚れると、吸着力が低下します。
吸盤と取付シートの汚れを取り除いてください。

■吸　盤（吸着面）

- ●スポンジ（市販品）に十分に水を含ませて、なでるようにふいてください。（水分が不足していると、汚れが落ちなかったり、吸着面が傷つきます）
- ●吸盤は完全に乾くまでに時間がかかりますが、自然乾燥させてください。（タオルやティッシュペーパーなどでふくと繊維が付着します）

■貼り付けベース（設置面）

- ●水や市販のクリーナーなどで表面の汚れ（ごみや油など）をきれいにふき取り、湿気を乾かしてください。
- ●設置面（貼り付けベース）に吸盤の跡が残る場合がありますが、性能には問題ありません。中性洗剤でふき取ることができます。

※溶剤の成分は、商品のラベル表示などでご確のうえ、注意書きに従ってご使用ください。

- ●ダッシュボードに直接吸盤を貼り付けた場合、ダッシュボードの材質や色によっては貼り付け跡が残る場合があります。

お願い

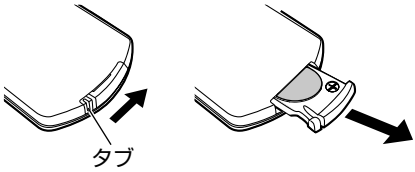
本機の故障や吸盤の破損、吸着力の低下の原因になりますので、次のことをお守りください。

- ●洗剤は使わない。
- ●水洗いしない（特に、端子部分には水がかからないように）
- ●下記のようなスポンジは使わない。
  - ・研磨スポンジ（メラミンスポンジ）
  - ・洗剤などの入ったスポンジ
  - ・表面の硬いスポンジ（たわし状、ネットに入っているなど）

リモコン電池の交換方法

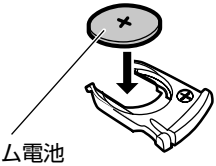
① 電池ケースを引き出します。

リモコン裏面の電池ケースのタブを矢印の方向に押しながら電池受けを引き出します。



② 電池を入れます。

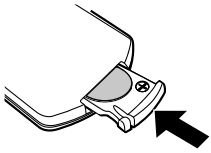
⊕を上にして入れてください。
⊕⊖を確かめてから正しくセットしてください。



リチウム電池
（CR2025またはCR2025P）

③ 電池ケースを差し込みます。

電池ケースを「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



お願い

- ●リモコンを紛失しないようご注意ください。
- ●落としたり、衝撃を与えたり、足で踏んだりしないでください。故障の原因となります。
- ●リモコンに水をかけないでください。
- ●リモコンを受光部の近くで操作してもはたらかないときは、電池（CR2025またはCR2025P）を交換してください。

故障かな！？

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らない場合は、「お客様サポートセンター☎０２６５－９８－０１３９」にご相談ください。

共通の項目

症状	原因と処置	ページ
リモコンが操作できない	●電池が消耗していたり、電池の極性が間違っていませんか？ ●リモコン受信部に向けて操作していますか？ ●受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。 →いったんエンジンを切り（ACCオフ）、再度エンジンをかけて（ACCオン）ください。	49 12
チャンネル情報が画面から消えない	●画面表示ボタンで、画面表示が出る状態にしていませんか？ →再度、画面表示ボタンを押してください。	35
電源が入らない	●電源ケーブルが正しく接続されていますか？ ●電源表示部は点灯していますか？ ●シガーソケットが汚れていたり錆びたりしていませんか？ →汚れや錆を取り除いて下さい。 （接触不良により発熱し、火災や故障、車輌側のヒューズの断線などの原因になります。）	47 11
電源を入れても映像がすぐに出ない	●本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。	—
映像も、音声も出ない	●車の場所や方向により、受信状態が変化します。アンテナレベルを確認してください。 ●B-CASカードは正しく挿入されていますか？ B-CASカードテストを実行して確認してください。	35 13

故障かな！？

地上デジタル放送項目

症状	原因と処置	ページ
映像や音声が出ないまたは、ときどき出なくなる 映像が静止するまたは、ときどき静止する	●車のある場所や方向により受信状態が変化します。 ●車輌の搭載機器※の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。 ※電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプ、電動カーテン、電動サンルーフ、ドライブレコーダー、レーダー探知機、オートロック、車載モニター、アマチュア/業務用無線など。 ●自動車/バイク/高圧線/ネオンサインなどの近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	8 8 8
地上デジタル放送が受信できない	●車のある場所は、地上デジタル放送の放送エリアですか？ →地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるために当初は非常に小さい出力電波で開始されるため受信エリアが限られる場合があります。また、地理的や建物などで受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合もあります。 ●「受信モード」のモードは適切ですか？ →「地上デジタル固定」モードでは受信状態が悪くなって「ワンセグ」に切り替わりません。「自動切換」に設定すると地上デジタルテレビ放送番組を視聴中に、受信状態が悪化したときには、自動的にワンセグの番組に切り換え、地上デジタルテレビ放送が受信できるようになれば、自動的に地上デジタルテレビ放送の番組に切り換えます。	— 23
地上デジタル放送が1～3局だけ受信できない（または受信しにくい）	●独立テレビ局を受信していませんか？ →独立テレビ局は決められた地域への放送を行っています。そのため、広域放送局（テレビ系列局）よりも小さな出力で放送電波を発信している場合や、違う電波塔で放送電波を発信していることがあります。	—
番組が勝手に切り換わる （走行時や受信が不安定なとき）	●地上デジタルテレビ放送とワンセグを切り換える受信モードを「自動切換」にしていませんか？ →地上デジタル放送とワンセグは、同じ放送局でも複数の番組を送ることができることから、受信モードを自動に切り換えたとき、地上デジタル放送とワンセグの番組が異なる場合があります。 →２００８年４月から、地上デジタル放送が１番組しか映像を送っていなくても、ワンセグは異なった放送を行う場合があります。	23 10 10

情報表示

さくいん

英数字　　ページ数

■ B-CAS カードテスト・・・・・・・・・・・・・・・24
■ B-CAS カードの挿入・・・・・・・・・・・・・・・13

あ行

■アンテナレベル・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

か行

■画面表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

さ行

■再スキャン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
■字幕の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
■受信レベル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
■受信モード設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
■初期スキャン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
■設置設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14〜33
■字幕 / 文字スーパー・・・・・・・・・・・・・・・・24

た行

■地域設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
■地上デジタル放送・・・・・・・・・・・・・・・・9〜10
■チャンネル設定・・・・・・・・・・・・・・・・16〜21
■チャンネル選択 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

は行

■番組情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
■番組表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
■付属品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
■ホーム / ドライブ・・・・・・・・・・・・・・・・・22

ま行

■メニュー画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

ら行

■リモコン受信部・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
■リモコン設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

わ行

■ワンセグ ・・・・・・・・・・・・9、10、12、23、35

用語解説

アンテナレベル

アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。
受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、車のある場所、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

(株)B-CAS

BSデジタル放送の限定受信システム(CAS)を管理するために設立された(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CASカードの発行・管理をしています。110度CSデジタル放送、地上デジタル放送も同システムを使用しています。

物理チャンネル

13chから62chまでの50チャンネルがあります。
地上デジタル放送はアナログ地上放送のUHF帯(13〜62ch)と同じ周波数を使って行われています。なお、リモコンに割り当てられているチャンネル番号とは異なります。
※ホームのプリセットモードで放送局の放送区域外まで移動したら、ドライブモードで再スキャンを実施して系列局を設定してください。

仕 様

製品仕様	
品番	PXV1000F
品名	7V 型 WVGA フルセグ TV
使用電源	DC5V（シガーライター：12V～24V）
テレビ	
ディスプレイ	7 インチ WVGA（解像度 800×480）LED　バックライト TFT 液晶
受信可能放送	地上デジタル（フルセグ＋ワンセグ自動切換）miniB-CAS カード
アンテナ	ブースター内蔵高感度フィルムアンテナ 2 本同梱+ブースター内蔵ツインロッドアンテナ（自動切り替え）
スピーカー	ステレオ　1.5W×2
接続端子	電源入力端子：専用端子 ×1
	アンテナ入力端子：専用端子 ×2
	AV　IN：AV 入力 1、AV 入力 2　（4 極ミニジャック）
	ヘッドホン端子：3.5mm ステレオミニジャック ×1
FM トランスミッター	送信周波数　76.0MHz～90.9MHz（0.1MHz ステップ）
製品寸法	(W)119mm×(H)117m×(D)27mm
製品質量	約 404g（本体のみ）

保　証　書

品番 / PXV1000F　品名 / 7V型WVGAフルセグTV　　※保証期間はお買い上げ日より1年です。

※販売店様ご記入欄	取り扱い販売店名・住所・電話番号
	お買い上げ日　　年　　月　　日
★お客様ご記入欄	ご住所 〒
	ふりがな お名前　　様
	電話番号　　(　　)
	Eメールアドレス
	カードID(B-CASカード番号)
	製品バージョン
	シリアルナンバー

保証期間内に、正常なる使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店、または弊社にて無料で交換・修理いたします。
保証期間内でも、次の場合は有料交換・修理になります。また、保証書は日本国内においてのみ有効です。
(1)お買い求め後の輸送、移動時の取扱いが不適切なために生じた故障・損傷
(2)誤用・乱用および取扱い不注意による故障・損傷
(3)不当な修理または改造による故障・損傷
(4)火災、地震、水害その他の天災地変および異常電圧・指定外の電源使用による故障・損傷
(5)本書のご提示がない場合(レシート添付の場合は除く)、あるいは字句を書き換えられた場合
(6)業務用または、車載以外で使用した場合の故障・損傷
(7)取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の、故障・損傷
この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

●本器は厳密な検査に合格してお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、この保証書に記載された内容により修理いたします。
※修理の際は、お買い上げの販売店に必ず本保証書を提示してください。
●この保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
●お買い求めの販売店印またはレシートのないものは、無効となりますのでご注意ください。

ID番号
27ページに記載のB-CASカード情報、製品バージョン情報で確認できる「カードID」「バージョン」の番号をご記入ください。

バッケージに貼られているシールの12桁の英数字をご記入ください。

■**お客様へお願い**：お手数ですが、★欄内をなるべくわかりやすくご記入頂き、お買い求めの販売店または弊社に必ずご提示ください。
■**販売店様へお願い**：※欄内を必ずご記入頂き、保証書をお客様にお渡しください。

SEIWA® 株式会社 セイワ
〒134-0092
東京都江戸川区一之江町3000番地

お客様サポートセンター…☎0265(98)0139
受付時間/AM10:00～PM6:00（土曜・日曜・祝日除く）
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町8448-4

株式会社 セイワ http://www.seiwa-c.co.jp
〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地